

2025年度（前期）		音響学科 1年			
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		ホームルームⅠ		2	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	32	音響実務

☐ 授業概要

自身の自己分析と業界・分野の理解を深める。

☐ 授業テーマ

報告、連絡、相談の徹底を認識させ、実行する。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ホームルームⅠ-1	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
2	／	ホームルームⅠ-2	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
3	／	ホームルームⅠ-3	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
4	／	ホームルームⅠ-4	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
5	／	ホームルームⅠ-5	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
6	／	ホームルームⅠ-6	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
7	／	ホームルームⅠ-7	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
8	／	ホームルームⅠ-8	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
9	／	ホームルームⅠ-9	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
10	／	ホームルームⅠ-10	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
11	／	ホームルームⅠ-11	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
12	／	ホームルームⅠ-12	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
13	／	ホームルームⅠ-13	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
14	／	ホームルームⅠ-14	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
15	／	ホームルームⅠ-15	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
16	／	ホームルームⅠ-16	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等

☐ 到達目標

報・連・相の徹底。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅠ			2	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	32	音響実務

☐ 授業概要

自身の自己分析と業界・分野の理解を深める。

☐ 授業テーマ

現場で即戦力となる人材を目指す。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ホームルームⅠ-17	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
2	／	ホームルームⅠ-18	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
3	／	ホームルームⅠ-19	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
4	／	ホームルームⅠ-20	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
5	／	ホームルームⅠ-21	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
6	／	ホームルームⅠ-22	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
7	／	ホームルームⅠ-23	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
8	／	ホームルームⅠ-24	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
9	／	ホームルームⅠ-25	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
10	／	ホームルームⅠ-26	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
11	／	ホームルームⅠ-27	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
12	／	ホームルームⅠ-28	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
13	／	ホームルームⅠ-29	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
14	／	ホームルームⅠ-30	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
15	／	ホームルームⅠ-31	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑
16	／	ホームルームⅠ-32	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等☑

☐ 到達目標

報・連・相の徹底。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上 果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修	64	デザイナー

☐ 授業概要

CADソフトのオペレーションを身につける(Vectorworksの習得)

☐ 授業テーマ

仕込み図を作成できるようにする

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	CADについて	C A Dの基本操作を理解しよう！仕込み図を書いてみよう～下準備編～
2	／	Vectorworksについて①	説明・基本操作 簡単な図の作成
3	／	Vectorworksについて②	基本操作：加工方法を覚える 簡単な図の作成
4	／	Vectorworksについて③	基本操作：加工方法を覚える 簡単な図の作成
5	／	Vectorworksについて④	課題：図の作成
6	／	仕込み図の下準備①	図面の読み方：縮尺について、音響機材の記号確認
7	／	仕込み図の下準備②	基本操作、バランス、レイアウトについて
8	／	仕込み図の下準備③	基本操作、バランス、レイアウトについて
9	／	仕込み図の下準備④	音響機材の仕上がりチェック
10	／	読み取りと複製①	図面を読み取り、複製する
11	／	読み取りと複製②	図面を読み取り、複製する
12	／	仕込み図の作成①	イベントに合わせた仕込み図の作成
13	／	仕込み図の作成②	イベントに合わせた仕込み図の作成
14	／	仕込み図の作成③	イベントに合わせた仕込み図の作成
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

マックの基本操作が出来る。

☐ 評価方法

授業内での制作課題と期限内での提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上 果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	デザイナー実務経験有り

☐ 授業概要

オフィスソフトの応用操作を身につける(Excel,Word)

☐ 授業テーマ

仕込み図を作成できるようにする

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	文章作成	WordとExcelの基本操作
2	文章作成	文書編集/表作成基本
3	印刷について	印刷サイズ位合わとまとめ
4	作成 1	文書作成・グラフ作成
5	作成 2	文書作成と表作成・グラフ作成のまとめ
6	プリント 1	文書作成・グラフ作成のプリント 1
7	プリント 2	文書作成・グラフ作成のプリント 2
8	応用	WordとExcelで書類を作成することができること
9	図形を使った資料 1	図形や画像を使った文書作成・ブックの利用と管理/データベース機能
10	図形を使った資料 2	図形や画像を使った文書作成問題・関数
11	まとめ 1	Word・Excelのまとめの課題 1
12	まとめ 2	Word・Excelのまとめの課題 2
13	まとめ 3	Word・Excelのまとめの課題 3
14	筆記試験	テスト
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

マックを使って企画書が出来る。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルートⅠ			4	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	64	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

□ 授業概要

社会人基礎力を理解し、自己理解と仕事理解によって就職活動の基礎力を身につける。
就職活動に必要なキャリア設計の土台を作る。

□ 授業テーマ

就職活動の土台作り（自己理解と仕事理解）

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	社会人基礎	オリエンテーション・働く上で必要なスキルについて
2	／	社会人基礎	社会人基礎力について・セルフチェック
3	／	業界基礎	業界・職種について
4	／	業界基礎	会社・雇用形態・求人票の見方
5	／	自己理解	自分史を用いた自己分析
6	／	自己理解	グループワークによる自己分析
7	／	文章力	読みやすい文章について
8	／	文章力	主語と述語の関係
9	／	文章力	助詞・接続詞
10	／	文章力	敬語
11	／	文章力	意見文
12	／	仕事理解	企業による説明会
13	／	仕事理解	企業研究
14	／	仕事理解	企業研究
15	／	就職活動基礎	就職活動の流れと準備について
16	／	期末まとめ	確認テスト

□ 到達目標

社会人基礎力の理解と行動化
就職活動に必要な知識が習得できている

□ 評価方法

確認テスト、課題提出、出席率

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルートⅠ			4	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

□ 授業概要

就職活動のプロセスを理解し、応募に必要な準備を進める。
業界・企業研究を通して、仕事理解を深める。

□ 授業テーマ

就職活動の対策

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	オリエンテーション	後期過ごし方や就職活動への流れと意識の確認
2	／	応募書類対策	自己PR①作り方
3	／	応募書類対策	自己PR②作成
4	／	応募書類対策	自己PR③セルフチェック・添削
5	／	応募書類対策	学生時代に力を注いだこと
6	／	業界・仕事理解	合同企業説明会参加に向けて
7	／	業界・仕事理解	企業研究・質問準備
8	／	業界・仕事理解	合同企業説明会参加
9	／	業界・仕事理解	企業説明会の振り返り・企業が求める人材について
10	／	応募書類対策	志望動機①作り方
11	／	応募書類対策	志望動機②作成
12	／	応募書類対策	志望動機③セルフチェック・添削
13	／	面接対策	入退室・面接マナー
14	／	面接対策	模擬面接実践
15	／	応募に向けて	必要書類やビジネスマナーの確認
16	／	期末まとめ	就職活動の流れ・情報収集などの確認

□ 到達目標

就職活動の流れを理解し学期末までに応募できる状態
応募書類作成に必要なスキルが習得できている

□ 評価方法

課題提出、出席率

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルートⅡ			4	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	64	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

☐ 授業概要

内定に向けて個別サポート

☐ 授業テーマ

就職活動

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	リクルート	個別サポート
2	／	リクルート	個別サポート
3	／	リクルート	個別サポート
4	／	リクルート	個別サポート
5	／	リクルート	個別サポート
6	／	リクルート	個別サポート
7	／	リクルート	個別サポート
8	／	リクルート	個別サポート
9	／	リクルート	個別サポート
10	／	リクルート	個別サポート
11	／	リクルート	個別サポート
12	／	リクルート	個別サポート
13	／	リクルート	個別サポート
14	／	リクルート	個別サポート
15	／	リクルート	個別サポート
16	／	リクルート	個別サポート

☐ 到達目標

個人目標を持ち企業をセグメント出来る。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルートⅡ			4	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

☐ 授業概要

内定に向けて個別サポート

☐ 授業テーマ

就職活動

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	リクルート	個別サポート
2	／	リクルート	個別サポート
3	／	リクルート	個別サポート
4	／	リクルート	個別サポート
5	／	リクルート	個別サポート
6	／	リクルート	個別サポート
7	／	リクルート	個別サポート
8	／	リクルート	個別サポート
9	／	リクルート	個別サポート
10	／	リクルート	個別サポート
11	／	リクルート	個別サポート
12	／	リクルート	個別サポート
13	／	リクルート	個別サポート
14	／	リクルート	個別サポート
15	／	リクルート	個別サポート
16	／	リクルート	個別サポート

☐ 到達目標

就職先についての自分磨き。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	音楽知識 基礎			4	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	必修	64	プロミュージシャン

☐ 授業概要

音楽、楽器の見知を広げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識を
をすることにつなげていく

☐ 授業テーマ

音楽、楽器の見知を広げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識を
をすることにつなげていく

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	音楽知識 基礎 1	オリエンテーション
2	／	音楽知識 基礎 2	リズム研究、ドラム研究
3	／	音楽知識 基礎 3	マイケルジャクソン研究
4	／	音楽知識 基礎 4	ギター研究
5	／	音楽知識 基礎 5	ベース研究
6	／	音楽知識 基礎 6	ビートルズ研究その1
7	／	音楽知識 基礎 7	ビートルズ研究その2
8	／	音楽知識 基礎 8	音源制作の流れ、仕事の役割の理解
9	／	音楽知識 基礎 9	オリエンテーション
10	／	音楽知識 基礎 10	音楽映画研究
11	／	音楽知識 基礎 11	イギリスのロック研究
12	／	音楽知識 基礎 12	アメリカのロック研究
13	／	音楽知識 基礎 13	日本のロック研究
14	／	音楽知識 基礎 14	ダンスミュージックその1（アメリカ）
15	／	音楽知識 基礎 15	ダンスミュージックその2（イギリス）
16	／	音楽知識 基礎 16	グループ討論

☐ 到達目標

音楽、楽器の見知を広げるための情報をイン
プットする。音楽のプロとしての視点、知識を
得ることにつなげていく。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	音楽知識 基礎			4	永田 健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	プロミュージシャン

☐ 授業概要

音楽、楽器の見知を広げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識を
をすることにつなげていく

☐ 授業テーマ

音楽、楽器の見知を広げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識を
をすることにつなげていく

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	音楽知識 基礎 17	オリエンテーション
2	／	音楽知識 基礎 18	音楽映画研究その2
3	／	音楽知識 基礎 19	音楽と映像1
4	／	音楽知識 基礎 20	音楽と映像2
5	／	音楽知識 基礎 21	レゲエ、スカ、ジャマイカの音楽
6	／	音楽知識 基礎 22	ブラジルの音楽
7	／	音楽知識 基礎 23	フランスの音楽
8	／	音楽知識 基礎 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9	／	音楽知識 基礎 25	オリエンテーション
10	／	音楽知識 基礎 26	進化するジャズ
11	／	音楽知識 基礎 27	クラブミュージック
12	／	音楽知識 基礎 28	ブルース研究、簡単なブルースセッション
13	／	音楽知識 基礎 29	モータウンレコード、スタックスレーベル
14	／	音楽知識 基礎 30	細野晴臣研究
15	／	音楽知識 基礎 31	音楽映画研究
16	／	音楽知識 基礎 32	著作権

☐ 到達目標

音楽、楽器の見知を広げるための情報をイン
プットする。音楽のプロとしての視点、知識を
得ることにつなげていく。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	キャリアプランニングⅠ		安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期 4月～9月	講義 必修	32
			実務経験
			人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

☐ 授業概要

就職活動の実践と企業選定に必要な要素について学ぶ。実際に行動に移し、内定獲得に繋げていく。

☐ 授業テーマ

就職活動の実践

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	就職活動基礎	内定までの流れの確認・準備状況の見直し
2	／	企業選定	企業検索・求人情報について
3	／	企業選定	就職活動の軸探し
4	／	書類対策	ESでよく聞かれる質問実践①
5	／	書類対策	ESでよく聞かれる質問実践②
6	／	面接対策	原点から目標までのストーリーを言語化する
7	／	面接対策	よく聞かれる質問と対策
8	／	個別対策	個人面談
9	／	個別対策	個人面談
10	／	個別対策	個人面談
11	／	企業研究	単独企業説明会
12	／	個別対策	個人面談
13	／	個別対策	個人面談
14	／	個別対策	個人面談
15	／	企業研究	企業説明会
16	／	期末まとめ	就活のポイント整理

☐ 到達目標

就職活動を計画的に行える。
志望企業の面接に向けて準備が行える。

☐ 評価方法

就職活動への行動実績・意欲・出席率

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			2	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	32	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

☐ 授業概要

社会人として必要なビジネスマナーについて学び、基礎的なスキルを身に付ける

☐ 授業テーマ

ビジネスマナーの習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	オリエンテーション	後期の過ごし方・社会人に必要なスキル
2	／	ビジネスマナー	メールのルールとマナー
3	／	ビジネスマナー	メール実践
4	／	ビジネスマナー	目上の人とのコミュニケーションについて
5	／	ビジネスマナー	敬語
6	／	ビジネスマナー	クッション言葉
7	／	ビジネスマナー	メール応用
8	／	ビジネスマナー	電話対応基礎
9	／	ビジネスマナー	電話対応実践
10	／	ビジネスマナー	初対面の人への話しかけ方・名刺交換
11	／	個別課題実践	個人面談・個別課題
12	／	個別課題実践	個人面談・個別課題
13	／	個別課題実践	個人面談・個別課題
14	／	個別課題実践	個人面談・個別課題
15	／	個別課題実践	個人面談・個別課題
16	／	期末まとめ	社会人になるにあたって

☐ 到達目標

ビジネスマナーの基礎が習得できている
卒業後の進路確定

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ビジネスマナー			4	安河内 智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	64	人事（採用・教育）・キャリアカウンセラー

☐ 授業概要

就職活動で必要となる知識・スキルの習得

☐ 授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	マナー実習①	ビジネスマナー実習
2	／	マナー実習②	ビジネスマナー実習
3	／	書類作成①	履歴書作成
4	／	書類作成②	履歴書作成
5	／	書類作成③	履歴書作成
6	／	プレゼンテーション①	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	／	プレゼンテーション②	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	／	業界分析①	業界、企業分析
9	／	業界分析②	業界、企業分析
10	／	自己PR①	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	／	自己PR②	志望動機、自己PRブラッシュアップ
12	／	グループディスカッション①	グループディスカッション
13	／	グループディスカッション②	グループディスカッション
14	／	プレゼンテーション③	プレゼンテーション
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

就職活動スキルの向上

ビジネスマナー習得

☐ 評価方法

授業への取り組み姿勢・出席率

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	制作会社

☐ 授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

☐ 授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	イベント制作 1	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	／	イベント制作 2	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	／	イベント制作 3	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	／	イベント制作 4	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	／	イベント制作 5	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	／	イベント制作 6	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	／	イベント制作 7	途中振り返り
8	／	イベント制作 8	到達テーマの企画制作 イベントの実施
9	／	イベント制作 9	到達テーマの企画制作 イベントの実施
10	／	イベント制作 10	到達テーマの企画制作 イベントの実施
11	／	イベント制作 11	到達テーマの企画制作 イベントの実施
12	／	イベント制作 12	到達テーマの企画制作 イベントの実施
13	／	イベント制作 13	到達テーマの企画制作 イベントの実施
14	／	イベント制作 14	試験 実施における実績と収支にて評価
15	／	イベント制作 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	イベント制作 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

イベントの実践

☐ 評価方法

総合評価・提出物

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修	64	制作会社

□ 授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□ 授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	イベント制作 17	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	／	イベント制作 18	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	／	イベント制作 19	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	／	イベント制作 20	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	／	イベント制作 21	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	／	イベント制作 22	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	／	イベント制作 23	途中振り返り
8	／	イベント制作 24	到達テーマの企画制作 イベントの実施
9	／	イベント制作 25	到達テーマの企画制作 イベントの実施
10	／	イベント制作 26	到達テーマの企画制作 イベントの実施
11	／	イベント制作 27	到達テーマの企画制作 イベントの実施
12	／	イベント制作 28	到達テーマの企画制作 イベントの実施
13	／	イベント制作 29	到達テーマの企画制作 イベントの実施
14	／	イベント制作 30	試験 実施における実績と収支にて評価
15	／	イベント制作 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	イベント制作 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

イベントの実践☑

□ 評価方法

総合評価・提出物

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	64	制作会社

□ 授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□ 授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	イベント制作 33	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	／	イベント制作 34	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	／	イベント制作 35	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	／	イベント制作 36	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	／	イベント制作 37	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	／	イベント制作 38	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	／	イベント制作 39	途中振り返り
8	／	イベント制作 40	到達テーマの企画制作 イベントの実施
9	／	イベント制作 41	到達テーマの企画制作 イベントの実施
10	／	イベント制作 42	到達テーマの企画制作 イベントの実施
11	／	イベント制作 43	到達テーマの企画制作 イベントの実施
12	／	イベント制作 44	到達テーマの企画制作 イベントの実施
13	／	イベント制作 45	到達テーマの企画制作 イベントの実施
14	／	イベント制作 46	試験 実施における実績と収支にて評価
15	／	イベント制作 47	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	イベント制作 48	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

イベントの実践。

□ 評価方法

総合評価・提出物

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	ホームルーム II		入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期 4月～9月	講義	必修・必修選択・選択
		必修	32
			実務経験
			音響実務

☐ 授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

☐ 授業テーマ

個別のキャリアプラン

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ホームルーム II-1	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2	／	ホームルーム II-2	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	／	ホームルーム II-3	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4	／	ホームルーム II-4	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5	／	ホームルーム II-5	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	／	ホームルーム II-6	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	／	ホームルーム II-7	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	／	ホームルーム II-8	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	／	ホームルーム II-9	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	／	ホームルーム II-10	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	／	ホームルーム II-11	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	／	ホームルーム II-12	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	／	ホームルーム II-13	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	／	ホームルーム II-14	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15	／	ホームルーム II-15	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	／	ホームルーム II-16	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルーム II			2	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	必修	32	音響実務

☐ 授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

☐ 授業テーマ

個別のキャリアプラン

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ホームルーム II-17	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2	／	ホームルーム II-18	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3	／	ホームルーム II-19	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4	／	ホームルーム II-20	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5	／	ホームルーム II-21	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6	／	ホームルーム II-22	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7	／	ホームルーム II-23	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8	／	ホームルーム II-24	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9	／	ホームルーム II-25	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10	／	ホームルーム II-26	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11	／	ホームルーム II-27	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12	／	ホームルーム II-28	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13	／	ホームルーム II-29	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14	／	ホームルーム II-30	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15	／	ホームルーム II-31	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16	／	ホームルーム II-32	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

☐ 到達目標

社会に出ることを前提にキャリアプランを作成する。

☐ 評価方法

課題制作、提出物での評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	制作演習Ⅰ		檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期 4月～9月	演習	必修
			32
			実務経験
			プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

就活にて有効となるポートフォリオの複数完成を目指す

☐ 授業テーマ

作品の内容・技術力

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	制作演習Ⅰ-1	目的の確認 作品制作工程について
2	／	制作演習Ⅰ-2	制作プランニング プレゼン・ディベート
3	／	制作演習Ⅰ-3	作品制作進行1
4	／	制作演習Ⅰ-4	作品制作進行2
5	／	制作演習Ⅰ-5	作品制作進行3
6	／	制作演習Ⅰ-6	制作進行状況まとめ
7	／	制作演習Ⅰ-7	中間確認:プレゼン・ディベート
8	／	制作演習Ⅰ-8	作品制作進行4
9	／	制作演習Ⅰ-9	作品制作進行5
10	／	制作演習Ⅰ-10	プレゼン作品まとめ
11	／	制作演習Ⅰ-11	作品制作進行6
12	／	制作演習Ⅰ-12	作品制作進行7
13	／	制作演習Ⅰ-13	作品制作進行8
14	／	制作演習Ⅰ-14	作品制作進行8
15	／	制作演習Ⅰ-15	ポートフォリオまとめ
16	／	制作演習Ⅰ-16	単位認定:プレゼン・ディベート

☐ 到達目標

ポートフォリオ用の作品制作

☐ 評価方法

提出物

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅱ			2	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修	32	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

就活にて有効となるポートフォリオの複数完成を目指す

☐ 授業テーマ

作品の内容・技術力

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	制作演習Ⅱ-1	個人制作プランニング
2	／	制作演習Ⅱ-2	制作プランニング ブラッシュアップ
3	／	制作演習Ⅱ-3	作品制作進行1
4	／	制作演習Ⅱ-4	作品制作進行2
5	／	制作演習Ⅱ-5	制作進行報告プレゼンシート作成
6	／	制作演習Ⅱ-6	中間確認プレゼン・ディベートからのブラッシュアップ
7	／	制作演習Ⅱ-7	作品制作進行3
8	／	制作演習Ⅱ-8	作品制作進行4
9	／	制作演習Ⅱ-9	作品制作進行5
10	／	制作演習Ⅱ-10	プレゼンテーション作成
11	／	制作演習Ⅱ-11	作品制作進行6
12	／	制作演習Ⅱ-12	作品制作進行7
13	／	制作演習Ⅱ-13	作品制作進行8
14	／	制作演習Ⅱ-14	ポートフォリオ・プレゼン準備
15	／	制作演習Ⅱ-15	プレゼン・ディベートからの作品ブラッシュアップ
16	／	制作演習Ⅱ-16	単位認定:作品チェック

☐ 到達目標

ポートフォリオ用の完成。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎			4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修選択	64	音響PA

☐ 授業概要

音の特性を理科し、環境に合わせた音響作りを目指す。

☐ 授業テーマ

音楽の様に音単体でも成立表とは別に、映像の補助的な役割など、シーンに合わせた対応を知る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ライブ音響 1	基本知識 1
2	／	ライブ音響 2	基本知識 2
3	／	ライブ音響 3	準備について 1
4	／	ライブ音響 4	準備について 2
5	／	ライブ音響 5	さまざま音源 1
6	／	ライブ音響 6	さまざま音源 2
7	／	ライブ音響 7	エフェクトと演出 1
8	／	ライブ音響 8	エフェクトと演出 2
9	／	ライブ音響 9	補正とは？ 1
10	／	ライブ音響 10	補正とは？ 2
11	／	ライブ音響 11	ミキシング 1
12	／	ライブ音響 12	ミキシング 2
13	／	ライブ音響 13	環境について 1
14	／	ライブ音響 14	環境について 2
15	／	ライブ音響 15	筆記テスト
16	／	ライブ音響 16	まとめ

☐ 到達目標

PA機器について名称と演出効果を理解する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年		
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎		4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修選択	64
				音響PA

☐ 授業概要

音の特性を理科し、環境に合わせた音響作りを目指す。

☐ 授業テーマ

音楽の様に音単体でも成立表とは別に、映像の補助的な役割など、シーンに合わせた対応を知る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ライブ音響 17	各マイクロフォンの特性 1
2	／	ライブ音響 18	各マイクロフォンの特性 2
3	／	ライブ音響 19	さまざまな楽器を知る 1
4	／	ライブ音響 20	さまざまな楽器を知る 2
5	／	ライブ音響 21	電気信号のフローを確認 1
6	／	ライブ音響 22	電気信号のフローを確認 2
7	／	ライブ音響 23	ミキサーの特性 1
8	／	ライブ音響 24	ミキサーの特性 2
9	／	ライブ音響 25	アンプを知る 1
10	／	ライブ音響 26	アンプを知る 2
11	／	ライブ音響 27	以外の機材の効果と必要性 1
12	／	ライブ音響 28	以外の機材の効果と必要性 2
13	／	ライブ音響 29	どこまでだったら一人でできる 1
14	／	ライブ音響 30	どこまでだったら一人でできる 2
15	／	ライブ音響 31	組織としてのライブ音響
16	／	ライブ音響 32	まとめ

☐ 到達目標

PA機器の操作が一人でもできる。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明基礎			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

コンソール（エレメント）基本機能と操作の習得

☐ 授業テーマ

照明機材の基本的特性を理科する

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台照明 1	ハンガーの脱着と機能の理解まで
2	／	舞台照明 2	レンズspot/凸について
3	／	舞台照明 3	レンズspot/フレネルについて
4	／	舞台照明 4	シールドビーム/PARについて
5	／	舞台照明 5	フラッドライト/ブロードについて
6	／	舞台照明 6	ホール設備とスポットの名称/特徴についての筆記テスト
7	／	舞台照明 7	クール末イベントにむけて
8	／	舞台照明 8	ハンガーの脱着と機能の理解まで
9	／	舞台照明 9	レンズspot/凸について
10	／	舞台照明 10	レンズspot/フレネルについて
11	／	舞台照明 11	シールドビーム/PARについて
12	／	舞台照明 12	フラッドライト/ブロードについて
13	／	舞台照明 13	ホール設備とスポットの名称/特徴についての筆記テスト
14	／	舞台照明 14	クール末イベントにむけて
15	／	舞台照明 15	テスト
16	／	舞台照明 16	振り返り

☐ 到達目標

照明機材の基本的特性を理解する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明基礎			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

コンソール（エレメント）基本機能と操作の習得

☐ 授業テーマ

照明機材の基本的特性を理科する

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台照明17	エスベの調光卓～ユニット～回路の理解
2	／	舞台照明18	ETC エレメントの概要の理解
3	／	舞台照明19	パッチの習得
4	／	舞台照明20	シーンメモリーの記憶習得
5	／	舞台照明21	シーンメモリーの記憶と再生習得（簡単な楽曲にあわせて）
6	／	舞台照明22	調光システムに関する筆記テスト
7	／	舞台照明23	クール末イベントにむけて
8	／	舞台照明24	シーンメモリーの修正習得
9	／	舞台照明25	エフェクトの作成の習得
10	／	舞台照明26	エフェクトの作成の習得
11	／	舞台照明27	楽曲でのシーンの作成と実行
12	／	舞台照明28	楽曲でのシーンの作成と実行
13	／	舞台照明29	エレメントに関する筆記テスト
14	／	舞台照明30	クール末イベントにむけて
15	／	舞台照明31	テスト
16	／	舞台照明32	振り返り

☐ 到達目標

照明機材の基本的操作を理解できる。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイデアプランニング基礎			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修選択	64	制作会社

☐ 授業概要

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

☐ 授業テーマ

いいものを作ろうとすると、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいのか？を探ります。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ブレインストーミング17	ブレインストーミングを知る
2	／	ブレインストーミング18	テーマ①についてプレストする
3	／	ブレインストーミング19	テーマ①のアイデアを整理する
4	／	ブレインストーミング20	テーマ②についてプレストする
5	／	ブレインストーミング21	テーマ②のアイデアを整理する
6	／	ブレインストーミング22	テーマ③についてプレストする
7	／	ブレインストーミング23	中間まとめ
8	／	ブレインストーミング24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9	／	ブレインストーミング25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10	／	ブレインストーミング26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11	／	ブレインストーミング27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12	／	ブレインストーミング28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13	／	ブレインストーミング29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14	／	ブレインストーミング30	1年間のまとめ
15	／	ブレインストーミング31	テスト
16	／	ブレインストーミング32	振り返り

☐ 到達目標

他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す。

☐ 評価方法

ブレインストーミングによる総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイデアプランニング基礎			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修選択	64	制作会社

☐ 授業概要

脳の中のヒラメキや深まった考えを文章や図などに視覚化します。

アイディアが具現化できるものかどうかを検証します。

☐ 授業テーマ

まずは、面白いと感じる実感を捉えます。その実感を共感に変えていくことを実践していきます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	アイデアプランニング 1	授業の流れと目的を共有します
2	／	アイデアプランニング 2	身近な「面白い・楽しい」について話す
3	／	アイデアプランニング 3	その理由を見つける
4	／	アイデアプランニング 4	テーマに沿ってオリジナル企画を考える
5	／	アイデアプランニング 5	企画をプレゼンテーションする
6	／	アイデアプランニング 6	企画を再考する
7	／	アイデアプランニング 7	
8	／	アイデアプランニング 8	樹形図を使ったアイデア出し①
9	／	アイデアプランニング 9	樹形図を使ったアイデア出し②
10	／	アイデアプランニング 10	樹形図を使ったアイデア出し③
11	／	アイデアプランニング 11	アイデアを組み合わせる①
12	／	アイデアプランニング 12	アイデアを組み合わせる②
13	／	アイデアプランニング 13	条件付きの企画について考える①
14	／	アイデアプランニング 14	条件付きの企画について考える②
15	／	アイデアプランニング 15	テスト
16	／	アイデアプランニング 16	振り返り

☐ 到達目標

アイディアをまとめる。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション基礎			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必修選択	64	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション基礎 1	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション基礎 2	Native/DSPプラグイン
3	／	PTオペレーション基礎 3	ロクロス等フェードの応用
4	／	PTオペレーション基礎 4	ビートディテクティブ
5	／	PTオペレーション基礎 5	AudioSuite
6	／	PTオペレーション基礎 6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	／	PTオペレーション基礎 7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない)
8	／	PTオペレーション基礎 8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用)
9	／	PTオペレーション基礎 9	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション基礎 10	クリップ情報について解説
11	／	PTオペレーション基礎 11	ステムトラックの作成方法
12	／	PTオペレーション基礎 12	変拍子のセッションの作成
13	／	PTオペレーション基礎 13	イン/エクスポート・バウンス
14	／	PTオペレーション基礎 14	グループ化の実用例
15	／	PTオペレーション基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション 基礎			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必修選択	64	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション基礎 17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション基礎 18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーション基礎 19	メーターの種類
4	／	PTオペレーション基礎 20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーション基礎 21	サイドチェイン
6	／	PTオペレーション基礎 22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーション基礎 23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーション基礎 24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーション基礎 25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション基礎 26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーション基礎 27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーション基礎 28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーション基礎 29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーション基礎 30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーション基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ベクターワークス			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	音響PA・音響設計

□ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ベクターワークス 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	ベクターワークス 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	ベクターワークス 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	ベクターワークス 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	ベクターワークス 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	ベクターワークス 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	ベクターワークス 7	★テスト：基本操作、図面についてのペーパーテスト
8	／	ベクターワークス 8	機材在庫管理と整理整頓
9	／	ベクターワークス 9	ケーブルメンテナンス
10	／	ベクターワークス 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	ベクターワークス 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	ベクターワークス 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	ベクターワークス 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	ベクターワークス 14	イラストレーターでの図面編集①（イラストレーターの基本操作）
15	／	ベクターワークス 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	ベクターワークス 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

メンテナンス方法の習得。

□ 評価方法

実技試験による評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅰ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

ピンスポットの基本操作～複雑な操作フォローの習得

☐ 授業テーマ

ピンスポットのスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	照明実習Ⅰ-1	ピンスポット実践1（役割）
2	／	照明実習Ⅰ-2	ピンスポット実践2（構造）
3	／	照明実習Ⅰ-3	ピンスポット実践3（電力）
4	／	照明実習Ⅰ-4	ピンスポット実践4（場所）
5	／	照明実習Ⅰ-5	ピンスポット実践5（過去の事例）
6	／	照明実習Ⅰ-6	ピンスポット実践6（学内にあるピンスポット）
7	／	照明実習Ⅰ-7	ピンスポット実践7（各ホールにあるピンスポット）
8	／	照明実習Ⅰ-8	ピンスポット実践8 狙ってみよう！①
9	／	照明実習Ⅰ-9	ピンスポット実践9 狙ってみよう！②
10	／	照明実習Ⅰ-10	ピンスポット実践10 狙ってみよう！③
11	／	照明実習Ⅰ-11	ピンスポット実践11 色をつける①
12	／	照明実習Ⅰ-12	ピンスポット実践12 色をつける②
13	／	照明実習Ⅰ-13	ピンスポット実践13 色をつける③
14	／	照明実習Ⅰ-14	ピンスポット実践14 その他のエフェクト①
15	／	照明実習Ⅰ-15	ピンスポット実践15 その他のエフェクト②
16	／	照明実習Ⅰ-16	まとめ

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

総合評価(知識・内容・技術)

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅰ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

Pinの総合的な操作の習得LEDと卓の基本操作の習得

☐ 授業テーマ

ピンスポットのスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	照明実習Ⅰ-17	クセノンピンの構造理解
2	／	照明実習Ⅰ-18	ダウザーレバーでの横の振りの感覚の習得
3	／	照明実習Ⅰ-19	アイリスレバーでのF/i～F/Oの習得
4	／	照明実習Ⅰ-20	ネライを使つての正確なF/i～F/Oの習得
5	／	照明実習Ⅰ-21	ダウザーレバーでのC/l～C/Oの習得
6	／	照明実習Ⅰ-22	ピンの構造と役割に関する筆記テスト
7	／	照明実習Ⅰ-23	F/l～FO/とC/l～C/OのMIXでのレバー操作
8	／	照明実習Ⅰ-24	フォローしながらのIN～OUT
9	／	照明実習Ⅰ-25	カラーフィルターを使った操作
10	／	照明実習Ⅰ-26	2色以上のチェンジ
11	／	照明実習Ⅰ-27	フォローしながらのIN～OUT
12	／	照明実習Ⅰ-28	楽曲でのPINのプラン
13	／	照明実習Ⅰ-29	ピンの操作に関する筆記テスト
14	／	照明実習Ⅰ-30	クール末イベントにむけて
15	／	照明実習Ⅰ-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	照明実習Ⅰ-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

現場にて対応できる応用力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅠ			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	PTオペレーションⅠ-1	オリエンテーション
2	／	PTオペレーションⅠ-2	Native/DSPプラグイン
3	／	PTオペレーションⅠ-3	ロクロス等フェードの応用
4	／	PTオペレーションⅠ-4	ビートディテクティブ
5	／	PTオペレーションⅠ-5	AudioSuite
6	／	PTオペレーションⅠ-6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	／	PTオペレーションⅠ-7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない)
8	／	PTオペレーションⅠ-8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用)
9	／	PTオペレーションⅠ-9	オリエンテーション
10	／	PTオペレーションⅠ-10	クリップ情報について解説
11	／	PTオペレーションⅠ-11	ステムトラックの作成方法
12	／	PTオペレーションⅠ-12	変拍子のセッションの作成
13	／	PTオペレーションⅠ-13	イン/エクスポート・バウンス
14	／	PTオペレーションⅠ-14	グループ化の実用例
15	／	PTオペレーションⅠ-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーションⅠ-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション I-17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション I-18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーション I-19	メーターの種類
4	／	PTオペレーション I-20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーション I-21	サイドチェイン
6	／	PTオペレーション I-22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーション I-23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーション I-24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーション I-25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション I-26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーション I-27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーション I-28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーション I-29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーション I-30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーション I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	ITBミキシング 基礎		高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	前期 4月～9月	演習	64
		選択	実務経験
			音響・レコーディング実務

□ 授業概要

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□ 授業テーマ

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ITBミキシング 基礎 1	オリエンテーション
2	／	ITBミキシング 基礎 2	プロツールのインストール
3	／	ITBミキシング 基礎 3	プロツールの原理
4	／	ITBミキシング 基礎 4	能動的に聴くことの考察・アプローチ
5	／	ITBミキシング 基礎 5	モニタースピーカー、ヘッドフォン、モニター環境
6	／	ITBミキシング 基礎 6	ルームアコースティック
7	／	ITBミキシング 基礎 7	シグナル経路
8	／	ITBミキシング 基礎 8	マイクの基本
9	／	ITBミキシング 基礎 9	オリエンテーション
10	／	ITBミキシング 基礎 10	ミキサーの動作原理
11	／	ITBミキシング 基礎 11	ゲインステージの物理的理解
12	／	ITBミキシング 基礎 12	イコライザー動作原理と応用
13	／	ITBミキシング 基礎 13	コンプレッサーの動作原理と実践
14	／	ITBミキシング 基礎 14	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15	／	ITBミキシング 基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	ITBミキシング 基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。

□ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	ITBミキシング 基礎		高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習	64
		選択	実務経験
			音響・レコーディング実務

□ 授業概要

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□ 授業テーマ

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	ITBミキシング 基礎 17	オリエンテーション
2	／	ITBミキシング 基礎 18	楽器の構造、弦楽器
3	／	ITBミキシング 基礎 19	楽器の構造、管楽器
4	／	ITBミキシング 基礎 20	録音手法
5	／	ITBミキシング 基礎 21	リズム楽器へのアプローチ、グループのコントロール
6	／	ITBミキシング 基礎 22	アコースティック・生楽器・エレクトリック楽器の処理
7	／	ITBミキシング 基礎 23	楽曲への音楽的なアプローチとクリエイティビティ
8	／	ITBミキシング 基礎 24	楽器の録音と、録音時のプロセッサの使い方
9	／	ITBミキシング 基礎 25	オリエンテーション
10	／	ITBミキシング 基礎 26	PCMとDSD、記録方式による音質の差異
11	／	ITBミキシング 基礎 27	演算によるサンプルレートの変換、データ圧縮、Dither技術
12	／	ITBミキシング 基礎 28	ハイレゾリューションマスタリングのアプローチ
13	／	ITBミキシング 基礎 29	MS(Sum and Difference)プロセッシングの原理と実践
14	／	ITBミキシング 基礎 30	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15	／	ITBミキシング 基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	ITBミキシング 基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。

□ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク 基礎			8	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	スタジオワーク基礎 1	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク基礎 2	スタジオの仕組み
3	／	スタジオワーク基礎 3	ミキサーの仕組み
4	／	スタジオワーク基礎 4	マイク・機材の紹介
5	／	スタジオワーク基礎 5	Protoolsとミキサーの説明
6	／	スタジオワーク基礎 6	歌レコーディング
7	／	スタジオワーク基礎 7	ドラムレコーディング
8	／	スタジオワーク基礎 8	マイキングによる音の変化の解説
9	／	スタジオワーク基礎 9	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク基礎 10	Cueboxを用いるモニター環境
11	／	スタジオワーク基礎 11	ギターレコーディング
12	／	スタジオワーク基礎 12	ベースレコーディング
13	／	スタジオワーク基礎 13	EQの説明
14	／	スタジオワーク基礎 14	コンプレッサーの説明
15	／	スタジオワーク基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

プロスタジオのワークフローの理解。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	スタジオワーク 基礎		高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習	128
		選択	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	スタジオワーク基礎 17	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク基礎 18	シグナルフローを理解する(1)
3	／	スタジオワーク基礎 19	シグナルフローを理解する(2)
4	／	スタジオワーク基礎 20	マイクの指向特性・周波数特性を理解する
5	／	スタジオワーク基礎 21	ステレオマイキング
6	／	スタジオワーク基礎 22	リバーブ
7	／	スタジオワーク基礎 23	リアンプなどを用いた手法
8	／	スタジオワーク基礎 24	ミキシング解説基礎(1)
9	／	スタジオワーク基礎 25	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク基礎 26	ピアノレコーディング
11	／	スタジオワーク基礎 27	弦管楽器のレコーディング
12	／	スタジオワーク基礎 28	MA（マルチオーディオ）についての説明
13	／	スタジオワーク基礎 29	アフレコ、ボイスオーバー
14	／	スタジオワーク基礎 30	キーボード等MIDIを用いたレコーディング
15	／	スタジオワーク基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

プロスタジオのワークフローの理解。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート基礎			8	太田 雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	レコーディング実務

☐ 授業概要

校内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

☐ 授業テーマ

校内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	アンサンブルオペレート基礎 1	オリエンテーション
2	／	アンサンブルオペレート基礎 2	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3	／	アンサンブルオペレート基礎 3	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4	／	アンサンブルオペレート基礎 4	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5	／	アンサンブルオペレート基礎 5	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）、ライブ音響・レコーディング実習
6	／	アンサンブルオペレート基礎 6	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7	／	アンサンブルオペレート基礎 7	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8	／	アンサンブルオペレート基礎 8	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9	／	アンサンブルオペレート基礎 9	オリエンテーション
10	／	アンサンブルオペレート基礎 10	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11	／	アンサンブルオペレート基礎 11	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12	／	アンサンブルオペレート基礎 12	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13	／	アンサンブルオペレート基礎 13	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14	／	アンサンブルオペレート基礎 14	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15	／	アンサンブルオペレート基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アンサンブルオペレート基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

セッションを通して演奏の基礎を理解する。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート基礎			8	太田 雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	レコーディング実務

□ 授業概要

学内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□ 授業テーマ

前期で学んだことの繰り返しの実践になるが、前期との違いに気づくことと、その気づきをシェアすること。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アンサンブルオペレート基礎 17	オリエンテーション
2	／	アンサンブルオペレート基礎 18	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3	／	アンサンブルオペレート基礎 19	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4	／	アンサンブルオペレート基礎 20	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5	／	アンサンブルオペレート基礎 21	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）、ライブ音響・レコーディング実習
6	／	アンサンブルオペレート基礎 22	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7	／	アンサンブルオペレート基礎 23	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8	／	アンサンブルオペレート基礎 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9	／	アンサンブルオペレート基礎 25	オリエンテーション
10	／	アンサンブルオペレート基礎 26	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11	／	アンサンブルオペレート基礎 27	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12	／	アンサンブルオペレート基礎 28	ファンクグルーブ、ライブ音響・レコーディング実習
13	／	アンサンブルオペレート基礎 29	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14	／	アンサンブルオペレート基礎 30	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15	／	アンサンブルオペレート基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アンサンブルオペレート基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

様々な人とセッション出来る能力を身に着ける。

□ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク基礎			4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA

☐ 授業概要

PAの目的と可能性を初歩的なスキルから学ぶ。簡単なPAシステムを立ち上げる

☐ 授業テーマ

学内にある機材で簡単なPAシステムを組み立てる。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PAスタッフワーク基礎 1	PAとは？
2	／	PAスタッフワーク基礎 2	PAに関わる機材
3	／	PAスタッフワーク基礎 3	音声信号のフロー①
4	／	PAスタッフワーク基礎 4	音声信号のフロー②
5	／	PAスタッフワーク基礎 5	各機材の役割
6	／	PAスタッフワーク基礎 6	学内にあるPA機材を全て把握しよう(1)
7	／	PAスタッフワーク基礎 7	学内にあるPA機材を全て把握しよう(2)
8	／	PAスタッフワーク基礎 8	学内にあるPA機材を全て把握しよう(3)
9	／	PAスタッフワーク基礎 9	学内にあるPA機材を全て把握しよう(4)
10	／	PAスタッフワーク基礎 10	簡単なシステムを立ち上げよう！①
11	／	PAスタッフワーク基礎 11	簡単なシステムを立ち上げよう！②
12	／	PAスタッフワーク基礎 12	簡単なシステムを立ち上げよう！③
13	／	PAスタッフワーク基礎 13	簡単なシステムを立ち上げよう！④
14	／	PAスタッフワーク基礎 14	機材名称試験
15	／	PAスタッフワーク基礎 15	振り返り
16	／	PAスタッフワーク基礎 16	音響機材でできること！

☐ 到達目標

一人で簡単なPAシステムを立ち上げる。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	PAスタッフワーク基礎		國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習 選択	64
			実務経験
			音響PA

□ 授業概要

学内にある全ての機材の名称と特性を把握し、一人で立ち上げるまでをマスターする。

□ 授業テーマ

一人でシステムを立ち上げたら、あとは時間を早くする。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	PAスタッフワーク基礎 17	オリエンテーション
2	PAスタッフワーク基礎 18	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう①
3	PAスタッフワーク基礎 19	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう①
4	PAスタッフワーク基礎 20	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう①
5	PAスタッフワーク基礎 21	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう①
6	PAスタッフワーク基礎 22	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう②
7	PAスタッフワーク基礎 23	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう③
8	PAスタッフワーク基礎 24	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう④
9	PAスタッフワーク基礎 25	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう⑤
10	PAスタッフワーク基礎 26	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう⑥
11	PAスタッフワーク基礎 27	学内機材でできること(1)
12	PAスタッフワーク基礎 28	学内機材でできること(2)
13	PAスタッフワーク基礎 29	学内機材でできること(3)
14	PAスタッフワーク基礎 30	実技試験
15	PAスタッフワーク基礎 31	振り返り
16	PAスタッフワーク基礎 32	振り返り

□ 到達目標

学内最大級のPA卓をコントロールする。

□ 評価方法

実技試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年		
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	舞台知識基礎		4	藤木 博之
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	64	イベント企画運営

☐ 授業概要

舞台における基本的な知識、特に名称の獲得します。また、舞台機構調整技能試験 受験に向けて知識を得ます。

☐ 授業テーマ

実際の演習につながる理論として運営。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台知識 基礎 1	ガイダンス
2	／	舞台知識 基礎 2	舞台の定義（演劇の始まり）
3	／	舞台知識 基礎 3	舞台の歴史(1) 古代ギリシアからローマ
4	／	舞台知識 基礎 4	舞台の歴史(2) シェイクスピアの時代
5	／	舞台知識 基礎 5	舞台の歴史(3) 日本の古典演劇
6	／	舞台知識 基礎 6	ミュージカル・オペラについて(1)
7	／	舞台知識 基礎 7	ミュージカル・オペラについて(2)
8	／	舞台知識 基礎 8	世界の劇場
9	／	舞台知識 基礎 9	日本の劇場
10	／	舞台知識 基礎 10	劇場内の構造と名称
11	／	舞台知識 基礎 11	劇場内の目的
12	／	舞台知識 基礎 12	日本のサイズについて
13	／	舞台知識 基礎 13	まとめ
14	／	舞台知識 基礎 14	筆記試験
15	／	舞台知識 基礎 15	学内のホールはどうだろ？(1)
16	／	舞台知識 基礎 16	学内のホールはどうだろ？(2)

☐ 到達目標

国家試験合格。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名	週間授業時数	担当講師名
	舞台知識基礎	4	藤木 博之
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	講義 選択	64
			実務経験
			イベント企画運営

☐ 授業概要

舞台における基本的な知識、特に名称の獲得します。また、舞台機構調整技能試験 受験に向けて知識を得ます。

☐ 授業テーマ

実際の演習につながる理論として運営。

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	舞台知識基礎 17	電気に関する基礎的な確認
2	／	舞台知識基礎 18	舞台機構と設備について
3	／	舞台知識基礎 19	照明設備について
4	／	舞台知識基礎 20	音響設備について
5	／	舞台知識基礎 21	映像設備について
6	／	舞台知識基礎 22	検定テスト
7	／	舞台知識基礎 23	検定テスト予備日（第1クールの復習と今後の課題について）
8	／	舞台知識基礎 24	劇場の歴史と機能
9	／	舞台知識基礎 25	上演へのプロセス
10	／	舞台知識基礎 26	公演における安全管理
11	／	舞台知識基礎 27	安全作業と演出技術
12	／	舞台知識基礎 28	設備運用と基本操作
13	／	舞台知識基礎 29	検定テスト
14	／	舞台知識基礎 30	検定テスト予備日（第2クールの復習と今後の課題について）
15	／	舞台知識基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台知識基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

国家試験合格。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	検定対策			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

☐ 授業テーマ

検定合格が1つのモチベーションとして導きます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	国家資格検定対策 1	音響検定の説明
2	／	国家資格検定対策 2	検定対策
3	／	国家資格検定対策 3	検定対策
4	／	国家資格検定対策 4	検定対策
5	／	国家資格検定対策 5	検定対策
6	／	国家資格検定対策 6	小テスト
7	／	国家資格検定対策 7	検定対策
8	／	国家資格検定対策 8	検定対策
9	／	国家資格検定対策 9	検定対策
10	／	国家資格検定対策 1 0	検定対策
11	／	国家資格検定対策 1 1	小テスト
12	／	国家資格検定対策 1 2	検定対策
13	／	国家資格検定対策 1 3	検定対策
14	／	国家資格検定対策 1 4	検定対策
15	／	国家資格検定対策 1 5	検定対策
16	／	国家資格検定対策 1 6	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

国家試験合格。

☐ 評価方法

小テスト、学期末の成果確認

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	機器概論		平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	講義 選択	64
			実務経験
			音響PA・音響設計

☐ 授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

☐ 授業テーマ

検定合格が1つのモチベーションとして導きます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	国家資格検定対策 1	授業の目的と流れを解説
2	／	機材把握8	既存機器の種類
3	／	機材把握9	既存機器の特徴
4	／	機材把握10	既存機器の活用方法
5	／	機材把握11	仕込み図作成
6	／	機材把握12	実践に向けて
7	／	筆記試験	理解確認
8	／	仕込み7	オペレートとは？
9	／	仕込み8	現場をイメージする。
10	／	仕込み9	実際現場起きる障壁について
11	／	仕込み10	その対処方法
12	／	仕込み11	仕込み図作成
13	／	仕込み12	効率的なオペレートについて
14	／	実施試験	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

国家試験合格。

☐ 評価方法

実技試験による評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA基礎			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

☐ 授業テーマ

検定合格が1つのモチベーションとして導きます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	国家資格検定対策 1	授業の目的と流れを解説
2	／	機器概論 1	既存機器の種類
3	／	機器概論 2	既存機器の特徴
4	／	機器概論 3	既存機器の活用方法
5	／	機器概論 4	仕込み図作成
6	／	機器概論 5	実践に向けて
7	／	小テスト	理解確認
8	／	オペレート 1	オペレートとは？
9	／	オペレート 2	現場をイメージする。
10	／	オペレート 3	実際現場起きる障壁について
11	／	オペレート 4	その対処方法
12	／	オペレート 5	仕込み図作成
13	／	オペレート 6	効率的なオペレートについて
14	／	実施試験	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

オペレーションの基礎を理解する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	TV照明			4	九州ハートス
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	TV照明会社

□ 授業概要

テレビ映像照明の基礎・業界一般知識
光の成分知識・実演を入れながら照明機材の使い方を習得

□ 授業テーマ

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	TV照明業界概論	会社紹介・業界について・照明の仕事 概要を解説
2	／	映像照明知識 1	音楽番組ついて 音楽番組作品鑑賞～解説
3	／	映像照明知識 2	ドラマ・映画について 作品鑑賞～解説
4	／	映像照明知識 3	情報バラエティ、中継、ロケについて 作品鑑賞～解説
5	／	映像照明知識 4	テレビカメラ・一眼レフカメラの仕組み 被写界深度
6	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 1	ライトの方向性① レンブラントライトなど
7	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 2	ライトの方向性②
8	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 3	光の成分① 照度・色温度・演色性
9	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 4	光の成分② ～①復習 カメラを通した映像の解説
10	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 5	光の成分③ 応用編 時間帯、季節感を出した実例
11	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 6	光の成分④ 応用編 点光源と面光源を使った実例
12	／	1 灯照明実践からの学ぶ表現法 7	光の成分⑤ 総集編 光の方向・成分 テクニック篇！
13	／	実践テスト	光の成分⑥ テーマに基づきグループ実習①
14	／	実践テスト	光の成分⑦ テーマに基づきグループ実習②～総解説
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

ライティングの基礎を理解する。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	TV照明			4	九州ハートス
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	TV照明会社

□ 授業概要

電気知識、スタジオ概要の習得、作品実習（コマーシャル）
音楽番組を通じて、照明のプラン 色の使い方

□ 授業テーマ

検定合格が1つのモチベーションとして導きます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	簡易照明機材から学ぶ照明概念	低電圧講習 現場で生かせる電気知識
2	／	ロケーションによる照明演出の違い1	テレビスタジオ・劇場 機構解説 ～違い
3	／	ロケーションによる照明演出の違い2	テレビ局スタジオ見学 ～プロ現場の話
4	／	ロケーションによる照明演出の違い3	コマーシャル撮影にチャレンジ① 絵コンテの書き方
5	／	ロケーションによる照明演出の違い4	コマーシャル撮影にチャレンジ② 絵コンテ制作
6	／	ロケーションによる照明演出の違い5	コマーシャル撮影にチャレンジ③ 作品実習
7	／	ロケーションによる照明演出の違い6	コマーシャル撮影にチャレンジ④ 作品実習
8	／	実践テスト	音楽番組にチャレンジ 例題作品鑑賞 照明プラン
9	／	課題実践学習 1	照明プラン ～4グループ作品選定
10	／	課題実践学習 2	作品実習① カメラ収録
11	／	課題実践学習 3	作品実習② カメラ収録
12	／	課題実践学習 4	作品実習③ カメラ収録
13	／	課題実践学習 5	作品実習④ カメラ収録
14	／	品評テスト実施	作品評価 試写会 年間振り返り・・・
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

専門的なライティングを理解する。

□ 評価方法

筆記試験（機材）

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マネジメント基礎			4	福山 洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	音楽プロモーター・A&R

☐ 授業概要

実際の存在するアーティストをプロデュースを実践します。
写真学科への撮影依頼、楽曲の拡散を狙います。

☐ 授業テーマ

在校生アーティストをモデルに実践します。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	マネジメント概論①	マネジメントと概論と基礎知識
2	／	マネジメント概論②	マネジメントと概論と基礎知識
3	／	マネジメント概論③	マネジメントと概論と基礎知識
4	／	マネジメント概論④	マネジメントと概論と基礎知識
5	／	マネジメント概論⑤	マネジメントと概論と基礎知識
6	／	マネジメント概論⑥	マネジメントと概論と基礎知識
7	／	筆記試験	
8	／	プロモーション①	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
9	／	プロモーション②	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
10	／	プロモーション③	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
11	／	プロモーション④	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
12	／	プロモーション⑤	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
13	／	プロモーション⑥	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
14	／	筆記試験	
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

マネジメントとプロモーションを理解する。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マネジメント基礎			4	福山 洋
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	音楽プロモーター・A&R

☐ 授業概要

座学を通して、マネージメントとプロモーションスキルを身につけます。

☐ 授業テーマ

権利や著作権を理解しマネージメントスキルの基礎を身につけ、宣伝の方法を学ぶ。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	実践1	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
2	／	実践2	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
3	／	実践3	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
4	／	実践4	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
5	／	実践5	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
6	／	実践6	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
7	／	実践7	プロデュースとプロモーション 概論 考え方
8	／	実践8	プロデュースプランニング コンセプト構築
9	／	実践9	プロデュースプランニング コンセプト構築
10	／	実践10	プロデュースプランニング コンセプト構築
11	／	実践11	プロデュースプランニング コンセプト構築
12	／	実践12	プロデュースプランニング コンセプト構築
13	／	実践13	プロデュースプランニング コンセプト構築
14	／	実践14	評価ポイント アーティスト写真 撮影 提出
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

マネージメントとプロモーションを実践として理解。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 1 年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識			4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	音響PA

☐ 授業概要

劇場に関する知識、安全作業と催事運用に関する知識、業種の壁を越えた幅広い知識の習得☑

☐ 授業テーマ

舞台知識をマスターする

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台知識 1	さまざまな舞台
2	／	舞台知識 2	舞台機構と設備について
3	／	舞台知識 3	照明設備について
4	／	舞台知識 4	音響設備について
5	／	舞台知識 5	映像設備について
6	／	筆記試験	検定テスト
7	／	オリエンテーション	検定テスト予備日（第1クールの復習と今後の課題について）
8	／	舞台知識 6	劇場の歴史と機能
9	／	舞台知識 7	上演へのプロセス
10	／	舞台知識 8	公演における安全管理
11	／	舞台知識 9	安全作業と演出技術
12	／	舞台知識10	設備運用と基本操作
13	／	筆記試験	検定テスト
14	／	まとめ	検定テスト予備日（第2クールの復習と今後の課題について）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

舞台の基礎を理科する。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 1年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識			4	藤木 博之
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	イベント企画運営

□ 授業概要

劇場に関する知識、安全作業と催事運用に関する知識、業種の壁を越えた幅広い知識の習得

□ 授業テーマ

舞台知識をマスターする

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	高校までの電気知識のおさらい・実用知識への変換	電気に関する基礎的な確認
2	／	イベントホール解説 1	舞台機構と設備について
3	／	イベントホール解説 2	照明設備について
4	／	イベントホール解説 3	音響設備について
5	／	イベントホール解説 4	映像設備について
6	／	知識確認テスト	検定テスト
7	／	オリエンテーション	検定テスト予備日（第1クールの復習と今後の課題について）
8	／	舞台の知識 1	劇場の歴史と機能
9	／	舞台進行について	上演へのプロセス
10	／	舞台の安全について	公演における安全管理
11	／	安全実習	安全作業と演出技術
12	／	舞台の知識 2	設備運用と基本操作
13	／	知識確認テスト	検定テスト
14	／	オリエンテーション	検定テスト予備日（第2クールの復習と今後の課題について）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

舞台の知識を取得する。

□ 評価方法

筆記試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上 果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	デザイナー

☐ 授業概要

コンテンツ制作に向けて、デザインソフトの応用操作を身につける(Adobe Illustrator、Photoshopの習得)

☐ 授業テーマ

デザインソフトを使用できるようになる

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	Illustrator基礎 1	Illustratorの基本操作 スクリーンレイアウトとツール
2	／	Illustrator基礎 2	図形の起こし方と組み合わせについて
3	／	Illustrator基礎 3	パスの概念と図形の合成
4	／	Illustrator基礎 4	ペンツールの基本操作
5	／	Illustrator基礎 チェック	トレース課題1
6	／	Illustrator基礎 チェック	トレース課題2
7	／	Illustrator基礎 5	テキスト組み方とアウトライン
8	／	Photoshop基礎1	Photoshopの基本操作 スクリーンレイアウトとツール
9	／	Photoshop基礎2	サイズと画像の切り抜き
10	／	Photoshop基礎3	調整レイヤーと色調補正
11	／	Photoshop基礎4	文字とレイヤー効果
12	／	レイアウト1	Photoshop Illustrator連携／画像配置とマスク
13	／	レイアウト2	画像を使ったオリジナル名刺デザイン
14	／	レイアウト3	イベントオリジナルフライヤ制作
15	／	スキルチェック	スキルチェック
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

☐ 評価方法

授業内での制作課題と期限内での提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上 果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	デザイナー

☐ 授業概要

コンテンツ制作に向けて、デザインソフトの応用操作を身につける(Adobe Illustrator、Photoshopの習得)

☐ 授業テーマ

デザインソフトを使用できるようになる

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	Illustrator基礎 1	Illustratorの基本操作 スクリーンレイアウトとツール
2	／	Illustrator基礎 2	図形の起こし方と組み合わせについて
3	／	Illustrator基礎 3	パスの概念と図形の合成
4	／	Illustrator基礎 4	ペンツールの基本操作
5	／	Illustrator基礎 チェック	トレース課題1
6	／	Illustrator基礎 チェック	トレース課題2
7	／	Illustrator基礎 5	テキスト組み方とアウトライン
8	／	Photoshop基礎1	Photoshopの基本操作 スクリーンレイアウトとツール
9	／	Photoshop基礎2	サイズと画像の切り抜き
10	／	Photoshop基礎3	調整レイヤーと色調補正
11	／	Photoshop基礎4	文字とレイヤー効果
12	／	レイアウト1	Photoshop Illustrator連携／画像配置とマスク
13	／	レイアウト2	画像を使ったオリジナル名刺デザイン
14	／	レイアウト3	イベントオリジナルフライヤ制作
15	／	スキルチェック	スキルチェック
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習 II			4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA

☐ 授業概要

学内イベントにおけるPA業務を担当するための準備授業。

☐ 授業テーマ

各種イベントに対応できるスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	／	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	／	シチュエーションによる音場調整論	スマート調整実習
4	／	ワイヤレスに関して	ワイヤレス検証
5	／	音の定位に関して・ab Live説明	オペレーション技法
6	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

様々なイベント実践を通して実力を発揮する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習Ⅱ			4	國分 優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA

☐ 授業概要

学内イベントにおけるPA業務を担当するための準備授業。

☐ 授業テーマ

各種イベントに対応できるスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	／	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	／	シチュエーションによる音場調整論	スマート調整実習
4	／	ワイヤレスに関して	ワイヤレス検証
5	／	音の定位に関して・ab Live説明	オペレーション技法
6	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
9	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
10	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
11	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

現場に出た際を想定し、会場の場合を経験する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅱ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

学内イベントにおける照明業務を担当するための準備授業。

☐ 授業テーマ

各種イベントに対応できるスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	／	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	／	シチュエーションによる照明調整論	スマート調整実習
4	／	ムービング	ムービング検証
5	／	光の特性	オペレーション技法
6	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

様々なイベント実践を通して実力を発揮する。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅱ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

学内イベントにおける照明業務を担当するための準備授業。

☐ 授業テーマ

各種イベントに対応できるスキルを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	／	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	／	シチュエーションによる照明調整論	スマート調整実習
4	／	ムービング	ムービング検証
5	／	光の特性	オペレーション技法
6	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
9	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
10	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
11	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

現場に出た際を想定し、会場の場数を経験する。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 1 年
------------	----------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

☐ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	マーケティング I-1	さまざまなマーケティングの定義
2	／	マーケティング I-2	マーケティングは誰がするのか
3	／	マーケティング I-3	マーケティングの考え方は変わっていく
4	／	マーケティング I-4	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	／	マーケティング I-5	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	／	マーケティング I-6	マーケティングに求められる役割
7	／	マーケティング I-7	振り返り
8	／	マーケティング I-8	外部環境分析PEST
9	／	マーケティング I-9	3C分析
10	／	マーケティング I-10	SWOT分析
11	／	マーケティング I-11	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	／	マーケティング I-12	マーケティングの目標の設定
13	／	マーケティング I-13	STPの概要
14	／	マーケティング I-14	セグメンテーション（市場細分化）
15	／	マーケティング I-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	マーケティング I-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

□ 授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

□ 授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	マーケティング I-17	さまざまなマーケティングの定義
2	／	マーケティング I-18	マーケティングは誰がするのか
3	／	マーケティング I-19	マーケティングの考え方は変わっていく
4	／	マーケティング I-20	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	／	マーケティング I-21	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	／	マーケティング I-22	マーケティングに求められる役割
7	／	マーケティング I-23	振り返り
8	／	マーケティング I-24	外部環境分析PEST
9	／	マーケティング I-25	3C分析
10	／	マーケティング I-26	SWOT分析
11	／	マーケティング I-27	SWOT分析 内部環境とマトリクス
12	／	マーケティング I-28	マーケティングの目標の設定
13	／	マーケティング I-29	STPの概要
14	／	マーケティング I-30	セグメンテーション（市場細分化）
15	／	マーケティング I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	マーケティング I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

イベントを運営する上でマーケティングの必要性の理解。

□ 評価方法

筆記試験

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

確率統計を中心にマーケティング全般を学びます。

☐ 授業テーマ

過去の事例を参考に、今後のビジョンを模索します。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	マーケティングⅡ-1	マーケティングは有効か？
2	／	マーケティングⅡ-2	マーケティングの実例
3	／	マーケティングⅡ-3	ニーズはどこにある？
4	／	マーケティングⅡ-4	仮説を立てる
5	／	マーケティングⅡ-5	他業界におけるマーケティング
6	／	マーケティングⅡ-6	音楽業界のマーケティング1
7	／	マーケティングⅡ-7	音楽業界のマーケティング2
8	／	マーケティングⅡ-8	音楽業界のマーケティング3
9	／	マーケティングⅡ-9	音楽業界のマーケティング4
10	／	マーケティングⅡ-10	音楽業界のマーケティング5
11	／	マーケティングⅡ-11	音楽業界のマーケティング6
12	／	マーケティングⅡ-12	もう一度、マーケットセグメント
13	／	マーケティングⅡ-13	リピーターとは？
14	／	マーケティングⅡ-14	筆記試験
15	／	マーケティングⅡ-15	振り返り
16	／	マーケティングⅡ-16	振り返り

☐ 到達目標

マーケティングを音楽を通して理解する。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティング			4	檀浦 正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	プランニング・マーケティング・制作

☐ 授業概要

確率統計を中心にマーケティング全般を学びます。

☐ 授業テーマ

過去の事例を参考に、今後のビジョンを模索します。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	マーケティングⅡ-17	音楽業界のマーケティング
2	／	マーケティングⅡ-18	エンタメ市場の中の音楽
3	／	マーケティングⅡ-19	レコード会社について
4	／	マーケティングⅡ-20	出版社について
5	／	マーケティングⅡ-21	ユーザーは誰？
6	／	マーケティングⅡ-22	商品のウリを明確にする
7	／	マーケティングⅡ-23	価格設定
8	／	マーケティングⅡ-24	コロナ禍のライブイベント
9	／	マーケティングⅡ-25	作者の収入源
10	／	マーケティングⅡ-26	インターネットで売り出す
11	／	マーケティングⅡ-27	インターネットで収入
12	／	マーケティングⅡ-28	売れる曲の共通点はあるのか？
13	／	マーケティングⅡ-29	日本で活躍する
14	／	マーケティングⅡ-30	世界で活躍する
15	／	マーケティングⅡ-31	筆記試験
16	／	マーケティングⅡ-32	振り返り

☐ 到達目標

業界でのマーケティングを一人で対応できる。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅡ			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響・レコーディング実務

□ 授業概要

実践を通して、自分の耳の感度を高める。

□ 授業テーマ

機材に振り回されないことない、扱う機材で如何に自分の求める音に近づけるのか？

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PT オペレーションⅡ 1	オリエンテーション
2	／	PT オペレーションⅡ 2	プロツールのインストール
3	／	PT オペレーションⅡ 3	プロツールの原理
4	／	PT オペレーションⅡ 4	能動的に聴くことの考察・アプローチ
5	／	PT オペレーションⅡ 5	モニタースピーカー、ヘッドフォン、モニター環境
6	／	PT オペレーションⅡ 6	ルームアコースティック
7	／	PT オペレーションⅡ 7	シグナル経路
8	／	PT オペレーションⅡ 8	マイクの基本
9	／	PT オペレーションⅡ 9	オリエンテーション
10	／	PT オペレーションⅡ 10	ミキサーの動作原理
11	／	PT オペレーションⅡ 11	ゲインステージの物理的理解
12	／	PT オペレーションⅡ 12	イコライザー動作原理と応用
13	／	PT オペレーションⅡ 13	コンプレッサーの動作原理と実践
14	／	PT オペレーションⅡ 14	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15	／	PT オペレーションⅡ 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PT オペレーションⅡ 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

着地したい自分の音を知る。

□ 評価方法

提出物

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅡ			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響・レコーディング実務

□ 授業概要

実践を通して、自分の耳の感度を高める。

□ 授業テーマ

機材に振り回されないことない、扱う機材で如何に自分の求める音に近づけるのか？

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PT オペレーションⅡ 17	オリエンテーション
2	／	PT オペレーションⅡ 18	楽器の構造、弦楽器
3	／	PT オペレーションⅡ 19	楽器の構造、管楽器
4	／	PT オペレーションⅡ 20	録音手法
5	／	PT オペレーションⅡ 21	リズム楽器へのアプローチ、グループのコントロール
6	／	PT オペレーションⅡ 22	アコースティック・生楽器・エレクトリック楽器の処理
7	／	PT オペレーションⅡ 23	楽曲への音楽的なアプローチとクリエイティビティ
8	／	PT オペレーションⅡ 24	楽器の録音と、録音時のプロセッサの使い方
9	／	PT オペレーションⅡ 25	オリエンテーション
10	／	PT オペレーションⅡ 26	PCMとDSD、記録方式による音質の差異
11	／	PT オペレーションⅡ 27	演算によるサンプルレートの変換、データ圧縮、Dither技術
12	／	PT オペレーションⅡ 28	ハイレゾリューションマスタリングのアプローチ
13	／	PT オペレーションⅡ 29	MS(Sum and Difference)プロセッシングの原理と実践
14	／	PT オペレーションⅡ 30	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15	／	PT オペレーションⅡ 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PT オペレーションⅡ 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

着地したい自分の音を知る。

□ 評価方法

提出物

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎演習			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

学内のライブイベントと連動し、そのプランと実践を行う。

☐ 授業テーマ

他学科との連携を最重要。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ライブ音響基礎演習 1	ライブイベント実習
2	／	ライブ音響基礎演習 2	ライブイベント実習
3	／	ライブ音響基礎演習 3	ライブイベント実習
4	／	ライブ音響基礎演習 4	ライブイベント実習
5	／	ライブ音響基礎演習 5	ライブイベント実習
6	／	ライブ音響基礎演習 6	ライブイベント実習
7	／	ライブ音響基礎演習 7	ライブイベント実習
8	／	ライブ音響基礎演習 8	ライブイベント実習
9	／	ライブ音響基礎演習 9	ライブイベント実習
10	／	ライブ音響基礎演習 10	ライブイベント実習
11	／	ライブ音響基礎演習 11	ライブイベント実習
12	／	ライブ音響基礎演習 12	ライブイベント実習
13	／	ライブ音響基礎演習 13	ライブイベント実習
14	／	ライブ音響基礎演習 14	ライブイベント実習
15	／	ライブ音響基礎演習 15	ライブイベント実習
16	／	ライブ音響基礎演習 16	ライブイベント実習

☐ 到達目標

ライブ全体を仕切れる力をつける。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎演習			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

学内のライブイベントと連動し、そのプランと実践を行う。

☐ 授業テーマ

他学科との連携を最重要。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ライブ音響基礎演習 17	ライブイベント実習
2	／	ライブ音響基礎演習 18	ライブイベント実習
3	／	ライブ音響基礎演習 19	ライブイベント実習
4	／	ライブ音響基礎演習 20	ライブイベント実習
5	／	ライブ音響基礎演習 21	ライブイベント実習
6	／	ライブ音響基礎演習 22	ライブイベント実習
7	／	ライブ音響基礎演習 23	ライブイベント実習
8	／	ライブ音響基礎演習 24	ライブイベント実習
9	／	ライブ音響基礎演習 25	ライブイベント実習
10	／	ライブ音響基礎演習 26	ライブイベント実習
11	／	ライブ音響基礎演習 27	ライブイベント実習
12	／	ライブ音響基礎演習 28	ライブイベント実習
13	／	ライブ音響基礎演習 29	ライブイベント実習
14	／	ライブ音響基礎演習 30	ライブイベント実習
15	／	ライブ音響基礎演習 31	ライブイベント実習
16	／	ライブ音響基礎演習 32	ライブイベント実習

☐ 到達目標

ライブ全体を仕切れる力をつける。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

1年次に学んだスキルを応用し表現する

☐ 授業テーマ

pro toolsを使っのミックスを知る

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ITBミキシング 1	DAW／Plugin実習
2	／	ITBミキシング 2	DAW／Plugin実習
3	／	ITBミキシング 3	DAW／Plugin実習
4	／	ITBミキシング 4	DAW／Plugin実習
5	／	ITBミキシング 5	DAW／Plugin実習
6	／	ITBミキシング 6	DAW／Plugin実習
7	／	ITBミキシング 7	DAW／Plugin実習
8	／	ITBミキシング 8	中間課題提出
9	／	ITBミキシング 9	DAW／Plugin実習
10	／	ITBミキシング 10	DAW／Plugin実習
11	／	ITBミキシング 11	DAW／Plugin実習
12	／	ITBミキシング 12	DAW／Plugin実習
13	／	ITBミキシング 13	DAW／Plugin実習
14	／	ITBミキシング 14	DAW／Plugin実習
15	／	ITBミキシング 15	DAW／Plugin実習
16	／	ITBミキシング 16	最終課題提出

☐ 到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング			4	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

1年次に学んだスキルを応用し表現する

☐ 授業テーマ

pro toolsを使っのミックスを知る

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	ITBミキシング 17	DAW／Plugin実習
2	／	ITBミキシング 18	DAW／Plugin実習
3	／	ITBミキシング 19	DAW／Plugin実習
4	／	ITBミキシング 20	DAW／Plugin実習
5	／	ITBミキシング 21	DAW／Plugin実習
6	／	ITBミキシング 22	DAW／Plugin実習
7	／	ITBミキシング 23	DAW／Plugin実習
8	／	ITBミキシング 24	中間課題提出
9	／	ITBミキシング 25	DAW／Plugin実習
10	／	ITBミキシング 26	DAW／Plugin実習
11	／	ITBミキシング 27	DAW／Plugin実習
12	／	ITBミキシング 28	DAW／Plugin実習
13	／	ITBミキシング 29	DAW／Plugin実習
14	／	ITBミキシング 30	DAW／Plugin実習
15	／	ITBミキシング 31	DAW／Plugin実習
16	／	ITBミキシング 32	最終課題提出

☐ 到達目標

現場に於ける応用力を発揮する。トラブル対応力を身に着ける。

☐ 評価方法

提出物

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク			8	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	スタジオワーク 1	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク 2	各周波数帯の特徴
3	／	スタジオワーク 3	マスタリング
4	／	スタジオワーク 4	デジタル・アナログ
5	／	スタジオワーク 5	位相・定位による音の変化
6	／	スタジオワーク 6	ラウドネス等踏まえた各種メーター
7	／	スタジオワーク 7	スタジオ機材リストの作成
8	／	スタジオワーク 8	ノイズについての解説
9	／	スタジオワーク 9	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク 10	ワードクロックの解説と重要性
11	／	スタジオワーク 11	アシスタント業務の心構え
12	／	スタジオワーク 12	譜面・ロケーション等の扱い方
13	／	スタジオワーク 13	ゲインコントロールについての解説
14	／	スタジオワーク 14	コンプ等を実践で扱ってみる
15	／	スタジオワーク 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

プロスタジオのワークフローの理解。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク			8	高田 玲央
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	音響・レコーディング実務

☐ 授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	スタジオワーク 17	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク 18	過去と現代の楽曲のエンジニア目線での視聴・考察
3	／	スタジオワーク 19	トラブルシューティング
4	／	スタジオワーク 20	作業の効率化を図る実務訓練
5	／	スタジオワーク 21	作業の効率化を図る実務訓練
6	／	スタジオワーク 22	サンプルレート・ビット深度による音の変化
7	／	スタジオワーク 23	機材理解度チェック
8	／	スタジオワーク 24	シグナルフロー理解
9	／	スタジオワーク 25	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク 26	録音実習(1)
11	／	スタジオワーク 27	録音実習(2)
12	／	スタジオワーク 28	録音実習(3)
13	／	スタジオワーク 29	録音実習(4)
14	／	スタジオワーク 30	ミキシング実習(1)
15	／	スタジオワーク 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

プロスタジオのワークフローの理解。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション			4	山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディング実務

☐ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

☐ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	PTオペレーション 1	オリエンテーション、課題発表
2	／	PTオペレーション 2	個別制作活動
3	／	PTオペレーション 3	個別制作活動
4	／	PTオペレーション 4	個別制作活動
5	／	PTオペレーション 5	個別制作活動
6	／	PTオペレーション 6	個別制作活動
7	／	PTオペレーション 7	課題提出
8	／	PTオペレーション 8	課題発表
9	／	PTオペレーション 9	個別制作活動
10	／	PTオペレーション 10	個別制作活動
11	／	PTオペレーション 11	個別制作活動
12	／	PTオペレーション 12	個別制作活動
13	／	PTオペレーション 13	個別制作活動
14	／	PTオペレーション 14	課題提出
15	／	PTオペレーション 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

メンテナンス方法の習得。

☐ 評価方法

実技試験による評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	PTオペレーション		山臺 昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習	64
		選択	実務経験
			レコーディング実務

□ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得☑
 どんな現場でも対応できる力を身に着ける。☑

□ 授業テーマ

各現場での音響業務の把握と項
 どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PTオペレーション 17	オリエンテーション、課題発表
2	／	PTオペレーション 18	個別制作活動
3	／	PTオペレーション 19	個別制作活動
4	／	PTオペレーション 20	個別制作活動
5	／	PTオペレーション 21	個別制作活動
6	／	PTオペレーション 22	個別制作活動
7	／	PTオペレーション 23	課題提出
8	／	PTオペレーション 24	課題発表
9	／	PTオペレーション 25	個別制作活動
10	／	PTオペレーション 26	個別制作活動
11	／	PTオペレーション 27	個別制作活動
12	／	PTオペレーション 28	個別制作活動
13	／	PTオペレーション 29	個別制作活動
14	／	PTオペレーション 30	課題提出
15	／	PTオペレーション 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

メンテナンス方法の習得。

□ 評価方法

実技試験による評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート			8	太田 雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	レコーディング実務

☐ 授業概要

学内コンサートホールを使っの、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

☐ 授業テーマ

学内コンサートホールを使っの、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

☐ 授業項目☐ 授業内容

1	／	アンサンブルオペレート 1	オリエンテーション
2	／	アンサンブルオペレート 2	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3	／	アンサンブルオペレート 3	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4	／	アンサンブルオペレート 4	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5	／	アンサンブルオペレート 5	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）、ライブ音響・レコーディング実習
6	／	アンサンブルオペレート 6	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7	／	アンサンブルオペレート 7	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8	／	アンサンブルオペレート 8	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9	／	アンサンブルオペレート 9	オリエンテーション
10	／	アンサンブルオペレート 10	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11	／	アンサンブルオペレート 11	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12	／	アンサンブルオペレート 12	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13	／	アンサンブルオペレート 13	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14	／	アンサンブルオペレート 14	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15	／	アンサンブルオペレート 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アンサンブルオペレート 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

他のパートに合わせ、自らの音を表現できる。

☐ 評価方法

課題、プレゼンテーションで評価

☐ 教科書 ・ 参考文献☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート			8	太田 雄一郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	レコーディング実務

□ 授業概要

校内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□ 授業テーマ

校内コンサートホールを使つての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アンサンブルオペレート 17	オリエンテーション
2	／	アンサンブルオペレート 18	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3	／	アンサンブルオペレート 19	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4	／	アンサンブルオペレート 20	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5	／	アンサンブルオペレート 21	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2）、ライブ音響・レコーディング実習
6	／	アンサンブルオペレート 22	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7	／	アンサンブルオペレート 23	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8	／	アンサンブルオペレート 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9	／	アンサンブルオペレート 25	オリエンテーション
10	／	アンサンブルオペレート 26	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11	／	アンサンブルオペレート 27	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12	／	アンサンブルオペレート 28	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13	／	アンサンブルオペレート 29	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14	／	アンサンブルオペレート 30	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15	／	アンサンブルオペレート 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アンサンブルオペレート 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

他のパートに合わせ、自らの音を表現できる。

□ 評価方法

課題、プレゼンテーションで評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		PAスタッフワーク		4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

□ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PAスタッフワーク 1	メンテナンスの必要性和方法などを説明
2	／	PAスタッフワーク 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	PAスタッフワーク 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	PAスタッフワーク 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	PAスタッフワーク 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	PAスタッフワーク 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	PAスタッフワーク 7	テスト（学校機材に関する内容）
8	／	PAスタッフワーク 8	機材在庫管理と整理整頓
9	／	PAスタッフワーク 9	ケーブルメンテナンス
10	／	PAスタッフワーク 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	PAスタッフワーク 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	PAスタッフワーク 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	PAスタッフワーク 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	PAスタッフワーク 14	テスト（学校機材に関する内容）
15	／	PAスタッフワーク 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PAスタッフワーク 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

メンテナンス方法の習得実技試験による評価期。
現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を
身に付ける。

□ 評価方法

筆記試験（機材）

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

□ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	PAスタッフワーク 17	メンテナンスの必要性和方法などを説明
2	／	PAスタッフワーク 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	PAスタッフワーク 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	PAスタッフワーク 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	PAスタッフワーク 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	PAスタッフワーク 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	PAスタッフワーク 23	テスト（学校機材に関する内容）
8	／	PAスタッフワーク 24	機材在庫管理と整理整頓
9	／	PAスタッフワーク 25	ケーブルメンテナンス
10	／	PAスタッフワーク 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	PAスタッフワーク 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	PAスタッフワーク 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	PAスタッフワーク 29	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	PAスタッフワーク 30	テスト（学校機材に関する内容）
15	／	PAスタッフワーク 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PAスタッフワーク 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

メンテナンス方法の習得実技試験による評価期。
現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を
身に付ける。

□ 評価方法

筆記試験（機材）

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台音響演習			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得

☐ 授業テーマ

機材メンテナンスの重要性を学び、トラブルシューティングに対応する。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台音響演習 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	舞台音響演習 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	舞台音響演習 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	舞台音響演習4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	舞台音響演習 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	舞台音響演習6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	舞台音響演習 7	前半振り返り
8	／	舞台音響演習 8	機材在庫管理と整理整頓
9	／	舞台音響演習 9	ケーブルメンテナンス
10	／	舞台音響演習 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	舞台音響演習11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	舞台音響演習 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	舞台音響演習 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	舞台音響演習14	後半振り返り
15	／	舞台音響演習 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台音響演習16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

メンテナンス方法の習得。

☐ 評価方法

実技試験による評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台音響演習			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

☐ 授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台音響演習 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	舞台音響演習 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	舞台音響演習 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	舞台音響演習 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	舞台音響演習 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	舞台音響演習 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	舞台音響演習 23	前半振り返り
8	／	舞台音響演習 24	機材在庫管理と整理整頓
9	／	舞台音響演習 25	ケーブルメンテナンス
10	／	舞台音響演習 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	舞台音響演習 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	舞台音響演習 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	舞台音響演習 29	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	舞台音響演習 30	後半振り返り
15	／	舞台音響演習 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台音響演習 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

メンテナンス方法の習得。

☐ 評価方法

実技試験による評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	音響検定			4	平井 克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	音響PA・音響設計

☐ 授業概要

国家試験である舞台機構調整技

☐ 授業テーマ

受講認定基準に係る、教育目標を定め、到達レベルまで指導していく

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	検定試験(学科・実技) 1	国家試験対策（実技対策講座）
2	／	検定試験(学科・実技) 2	国家試験対策（実技対策講座）
3	／	検定試験(学科・実技) 3	国家試験対策（実技対策講座）
4	／	検定試験(学科・実技) 4	国家試験対策（実技対策講座）
5	／	検定試験(学科・実技) 5	国家試験対策（実技対策講座）
6	／	検定試験(学科・実技) 6	国家試験対策（実技対策講座）
7	／	検定試験(学科・実技) 7	国家試験対策（実技対策講座）
8	／	検定試験(学科・実技) 8	国家試験対策（実技対策講座）
9	／	検定試験(学科・実技) 9	国家試験対策（実技対策講座）
10	／	検定試験(学科・実技)10	国家試験対策（実技対策講座）
11	／	検定試験(学科・実技)11	国家試験対策（実技対策講座）
12	／	検定試験(学科・実技)12	国家試験対策（模擬試験）
13	／	検定試験(学科・実技)13	国家試験対策（模擬試験）
14	／	検定試験(学科・実技)14	国家試験対策（模擬試験）
15	／	検定試験(学科・実技)15	振り返り
16	／	検定試験(学科・実技)16	振り返り

☐ 到達目標

国家試験合格。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明スタッフワーク			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	舞台照明会社

□ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

☐ 授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

☐ 授業項目

□ 授業内容

1		舞台照明技術 1	授業内容説明、
2		舞台照明技術 2	シュミレーターの知識・技術の習得 1
3		舞台照明技術 3	シュミレーターの知識・技術の習得 1
4		舞台照明技術 4	シュミレーターの知識・技術の習得 2
5		舞台照明技術 5	シュミレーターの知識・技術の習得 2
6		舞台照明技術 6	シュミレーターの知識・技術の習得 3
7		舞台照明技術 7	シュミレーターの知識・技術の習得 3
8		舞台照明技術 8	シュミレーターの知識・技術の習得 4
9		舞台照明技術 9	シュミレーターの知識・技術の習得 4
10		舞台照明技術 10	シュミレーターの知識・技術の習得 5
11		舞台照明技術 11	シュミレーターの知識・技術の習得 5
12		舞台照明技術 12	シュミレーターの知識・技術の習得 6
13		舞台照明技術 13	シュミレーターの知識・技術の習得 6
14		舞台照明技術 14	シュミレーターの知識・技術の習得 7
15		舞台照明技術 15	シュミレーターの知識・技術の習得 7
16		舞台照明技術 16	まとめ

☐ 到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 · 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明スタッフワーク			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

☐ 授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台照明技術 17	授業内容説明、
2	／	舞台照明技術 18	シュミレーターの知識・技術の習得 8
3	／	舞台照明技術 19	シュミレーターの知識・技術の習得 8
4	／	舞台照明技術 20	シュミレーターの知識・技術の習得 9
5	／	舞台照明技術 21	シュミレーターの知識・技術の習得 9
6	／	舞台照明技術 22	シュミレーターの知識・技術の習得10
7	／	舞台照明技術 23	シュミレーターの知識・技術の習得10
8	／	舞台照明技術 24	シュミレーターの知識・技術の習得11
9	／	舞台照明技術 25	シュミレーターの知識・技術の習得11
10	／	舞台照明技術 26	シュミレーターの知識・技術の習得 12
11	／	舞台照明技術 27	シュミレーターの知識・技術の習得 12
12	／	舞台照明技術 28	シュミレーターの知識・技術の習得 13
13	／	舞台照明技術 29	シュミレーターの知識・技術の習得 13
14	／	舞台照明技術 30	シュミレーターの知識・技術の習得14
15	／	舞台照明技術 31	シュミレーターの知識・技術の習得14
16	／	舞台照明技術 32	まとめ

☐ 到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明デザイン			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

☐ 授業テーマ

現場に応じた対応力を身に着ける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	照明デザイン 1	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 1
2	／	照明デザイン 2	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 1
3	／	照明デザイン 3	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 2
4	／	照明デザイン 4	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 2
5	／	照明デザイン 5	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 3
6	／	照明デザイン 6	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 3
7	／	照明デザイン 7	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 4
8	／	照明デザイン 8	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 4
9	／	照明デザイン 9	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 5
10	／	照明デザイン 10	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 5
11	／	照明デザイン 11	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 6
12	／	照明デザイン 12	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 6
13	／	照明デザイン 13	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 7
14	／	照明デザイン 14	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 7
15	／	照明デザイン 15	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 8
16	／	照明デザイン 16	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 8

☐ 到達目標

照明の表現方法を知識として理解する。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	照明デザイン		有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習	64
		選択	舞台照明会社

☐ 授業概要

どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

☐ 授業テーマ

現場に応じた対応力を身に着ける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	照明デザイン 17	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 9
2	／	照明デザイン 18	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 9
3	／	照明デザイン 19	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 10
4	／	照明デザイン 20	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 10
5	／	照明デザイン 21	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 11
6	／	照明デザイン 22	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 11
7	／	照明デザイン 23	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 12
8	／	照明デザイン 24	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 12
9	／	照明デザイン 25	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 13
10	／	照明デザイン 26	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 13
11	／	照明デザイン 27	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 14
12	／	照明デザイン 28	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 14
13	／	照明デザイン 29	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 15
14	／	照明デザイン 30	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 15
15	／	照明デザイン 31	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 16
16	／	照明デザイン 32	各設備を使用しての照明プランニング～オペレート 16

☐ 到達目標

照明の表現方法を知識として理解する。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明実習			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

☐ 授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台照明実習 1	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2	／	舞台照明実習 2	A館玄関 進撃の巨人前ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3	／	舞台照明実習 3	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4	／	舞台照明実習 4	2F 学生ホール JAZZライブ想定のオペレーション 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5	／	舞台照明実習 5	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6	／	舞台照明実習 6	A館2F バー実習室ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7	／	舞台照明実習 7	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8	／	舞台照明実習 8	B館8階 ホテル実習室でホラー映画演出 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9	／	舞台照明実習 9	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10	／	舞台照明実習 10	B館7階 バンケットルームで模擬披露宴 PAの参加も要請する予定
11	／	舞台照明実習 11	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12	／	舞台照明実習 12	A館8階廊下 ランウェイに見立ててファッションショー 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
13	／	舞台照明実習 13	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14	／	舞台照明実習 14	2F 学生ホール アコースティックライブ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15	／	舞台照明実習 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台照明実習 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明実習			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

☐ 授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台照明実習 17	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2	／	舞台照明実習 18	A館玄関 進撃の巨人前ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3	／	舞台照明実習 19	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4	／	舞台照明実習 20	2F 学生ホール JAZZライブ想定のオペレーション 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5	／	舞台照明実習 21	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6	／	舞台照明実習 22	A館2F バー実習室ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7	／	舞台照明実習 23	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8	／	舞台照明実習 24	B館8階 ホテル実習室でホラー映画演出 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9	／	舞台照明実習 25	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10	／	舞台照明実習 26	B館7階 バンケットルームで模擬披露宴 PAの参加も要請する予定
11	／	舞台照明実習 27	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12	／	舞台照明実習 28	A館8階廊下 ランウェイに見立ててファッションショー 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
13	／	舞台照明実習 29	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14	／	舞台照明実習 30	2F 学生ホール アコースティックライブ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15	／	舞台照明実習 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台照明実習 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	楽曲構成分析			4	吉永 匡
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	プロミュージシャン

□ 授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□ 授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	イベントプランニング 1	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	／	イベントプランニング 2	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	／	イベントプランニング 3	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	／	イベントプランニング 4	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	／	イベントプランニング 5	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	／	イベントプランニング 6	楽曲の基礎・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	／	イベントプランニング 7	途中振り返り
8	／	イベントプランニング 8	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
9	／	イベントプランニング 9	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
10	／	イベントプランニング 10	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
11	／	イベントプランニング 11	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
12	／	イベントプランニング 12	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
13	／	イベントプランニング 13	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
14	／	イベントプランニング 14	試験 実施における実績と収支にて評価
15	／	イベントプランニング 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	イベントプランニング 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

イベントを成立させる。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年			
授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	楽曲構成分析			4	吉永 匡
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	プロミュージシャン

□ 授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□ 授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	イベントプランニング 17	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	／	イベントプランニング 18	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	／	イベントプランニング 19	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	／	イベントプランニング 20	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	／	イベントプランニング 21	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	／	イベントプランニング 22	バリエーション・到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	／	イベントプランニング 23	途中振り返り
8	／	イベントプランニング 24	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
9	／	イベントプランニング 25	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
10	／	イベントプランニング 26	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
11	／	イベントプランニング 27	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
12	／	イベントプランニング 28	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
13	／	イベントプランニング 29	楽曲の応用・到達テーマの企画制作 イベントの実施
14	／	イベントプランニング 30	試験 実施における実績と収支にて評価
15	／	イベントプランニング 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	イベントプランニング 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

イベントを成立させる。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明検定			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

☐ 授業概要

照明コンサルタント試験対策

☐ 授業テーマ

実技とともに学ぶことで、技術だけではなく理論的な裏付けを身につける

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	検定試験(実技) 1	照明の基礎、光源、照明器具
2	／	検定試験(実技) 2	照明計算の基礎
3	／	検定試験(実技) 3	照明計算の基礎
4	／	検定試験(実技) 4	屋内照明計画・設計の基礎
5	／	検定試験(実技) 5	オフィス照明
6	／	検定試験(実技) 6	工場照明、店舗照明
7	／	検定試験(実技) 7	住宅照明、住宅の配線と配線器具
8	／	検定試験(実技) 8	模擬試験
9	／	検定試験(実技) 9	屋外照明、スポーツ照明
10	／	検定試験(実技) 1 0	非常時用照明、視覚弱者のための照明
11	／	検定試験(実技) 1 1	照明の保守と経済
12	／	検定試験(実技) 1 2	照明と省エネルギー
13	／	検定試験(実技) 1 3	最近の照明界の話題
14	／	検定試験(実技) 1 4	模擬試験
15	／	検定試験(実技) 1 5	模擬試験
16	／	検定試験(実技) 1 6	照明士について

☐ 到達目標

検定試験の合格。

☐ 評価方法

筆記試験

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Excel/Word			4	小磯 一成
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	システム管理

☐ 授業概要

Excel/Wordの基本的操作を学び、活用方法を知る。

☐ 授業テーマ

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	Excel/Word 1	Excel/Word概要
2	／	Excel/Word 2	ソフトウェアの目的、概要、搭載機能について学ぶ
3	／	Excel/Word 3	フォント、段落、字下げ、インデント、箇条書きなど基本技術を学ぶ。
4	／	Excel/Word 4	ページレイアウトの書式設定（余白、文字数、行数など）を学ぶ。
5	／	Excel/Word 5	Wordでの表作成や図形描画について学び、表、図形や写真を組み込んだ文書を作成する。
6	／	Excel/Word 6	課題作成 1
7	／	Excel/Word 7	ソフトウェアの目的、概要、搭載機能について学ぶ。
8	／	Excel/Word 8	表を作成し、体裁を整える方法を学ぶ。
9	／	Excel/Word 9	データ表を作成し、基本的な関数を用いて計算する技術を学ぶ。
10	／	Excel/Word 10	データ表を基に各種グラフを作成する方法を学ぶ。
11	／	Excel/Word 11	並べ替え、オートフィルタなど、データ整理方法について学ぶ。
12	／	Excel/Word 12	レポートなどで使えると便利な関数について学ぶ。
13	／	Excel/Word 13	課題作成 2
14	／	Excel/Word 14	ビジネス文章を作成しよう！
15	／	Excel/Word 15	タイムスケジュールを作成しよう！
16	／	Excel/Word 16	レポートの体裁を整え、提出する。

☐ 到達目標

基本的なPCスキルを身につける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Excel/Word			4	小磯 一成
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	システム管理

☐ 授業概要

Excel/Wordで書類を作成する。

☐ 授業テーマ

目的に合わせた機能を使用できるか？

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	Excel/Word 17	オリエンテーション、ビジネス文章とは？
2	／	Excel/Word 18	案内文書を作成作成する
3	／	Excel/Word 19	表作成機能をつかってみる
4	／	Excel/Word 20	段組み機能
5	／	Excel/Word 21	表・段組みを使用した文書の作成
6	／	Excel/Word 22	Word機能の応用 1
7	／	Excel/Word 23	Word機能の応用 2
8	／	Excel/Word 24	関数の基礎・絶対参照と相対参照
9	／	Excel/Word 25	表とグラフの作成と編集
10	／	Excel/Word 26	関数の応用1
11	／	Excel/Word 27	条件関数を使用した表の作成
12	／	Excel/Word 28	関数の応用2(検索関数:vlookup)
13	／	Excel/Word 29	検索関数を使用した表の作成
14	／	Excel/Word 30	ピボットテーブル機能
15	／	Excel/Word 31	課題
16	／	Excel/Word 32	振り返り

☐ 到達目標

PCスキルを身につける。

☐ 評価方法

課題提出

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企画制作実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	制作会社

☐ 授業概要

チーム企画をもとにしたグループ制作

☐ 授業テーマ

ゼロから立ち上げる企画と実践

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企画制作実践 1	グループ制作__ブレインストーミング
2	／	企画制作実践 2	グループ制作__マーケティング分析
3	／	企画制作実践 3	グループ制作__企画制作
4	／	企画制作実践 4	グループ制作__マーケットリサーチ
5	／	企画制作実践 5	グループ制作__レポート制作
6	／	企画制作実践 6	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
7	／	企画制作実践 7	グループ制作__ブレインストーミング
8	／	企画制作実践 8	グループ制作__マーケティング分析
9	／	企画制作実践 9	グループ制作__企画制作
10	／	企画制作実践 10	グループ制作__マーケットリサーチ
11	／	企画制作実践 11	グループ制作__レポート制作
12	／	企画制作実践 12	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
13	／	企画制作実践 13	ポートフォリオ作成
14	／	企画制作実践 14	ポートフォリオ作成
15	／	企画制作実践 15	ポートフォリオ作成
16	／	企画制作実践 16	課題テスト：ポートフォリオ提出

☐ 到達目標

チームとして動き、自分の役割を持つ。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企画制作実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	制作会社

☐ 授業概要

チーム企画をもとにしたグループ制作

☐ 授業テーマ

ゼロから立ち上げる企画と実践

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企画制作実践 17	グループ制作__ブレインストーミング
2	／	企画制作実践 18	グループ制作__マーケティング分析
3	／	企画制作実践 19	グループ制作__企画制作
4	／	企画制作実践 20	グループ制作__マーケットリサーチ
5	／	企画制作実践 21	グループ制作__レポート制作
6	／	企画制作実践 22	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
7	／	企画制作実践 23	グループ制作__ブレインストーミング
8	／	企画制作実践 24	グループ制作__マーケティング分析
9	／	企画制作実践 25	グループ制作__企画制作
10	／	企画制作実践 26	グループ制作__マーケットリサーチ
11	／	企画制作実践 27	グループ制作__レポート制作
12	／	企画制作実践 28	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
13	／	企画制作実践 29	ポートフォリオ作成
14	／	企画制作実践 30	ポートフォリオ作成
15	／	企画制作実践 31	ポートフォリオ作成
16	／	企画制作実践 32	課題テスト：ポートフォリオ提出

☐ 到達目標

チームとして動き、自分の役割を持つ。

☐ 評価方法

筆記試験（機材）

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年			
授業コード		授業科目名		週間授業時数	担当講師名
		舞台制作演習		4	藤木 博之
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	イベント企画運営

□ 授業概要

舞台に関わる言葉を知り、イベントを運営する流れを把握する。
限られた時間の中で効率的に活動するためのタイムスケジュールを作成します。

□ 授業テーマ

実際のイベントと連動し、運営します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	舞台制作演習 1	概要と進行
2	／	舞台制作演習 2	劇場や舞台での仕事内容
3	／	舞台制作演習 3	舞台制作上での必要な言葉とマナー
4	／	舞台制作演習 4	道具と扱い方
5	／	舞台制作演習 5	搬入と搬出について
6	／	舞台制作演習 6	簡単なセットを組んでみよう！
7	／	舞台制作演習 7	終演後の片付けの流れ
8	／	舞台制作演習 8	振り返り
9	／	舞台制作演習 9	企画立案
10	／	舞台制作演習 10	目的にあったSETを組んでみよう！
11	／	舞台制作演習 11	リハーサルについて 1
12	／	舞台制作演習 12	リハーサルについて 2
13	／	舞台制作演習 13	リハーサルについて 3
14	／	舞台制作演習 14	タイムスケジュールの重要性
15	／	舞台制作演習 15	舞台監督とは？
16	／	舞台制作演習 16	前期総括

□ 到達目標

舞台監督の立ち位置や、事前準備の必要性を理解。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台制作演習			4	藤木 博之
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	イベント企画運営

☐ 授業概要

舞台に関わる言葉を知り、イベントを運営する流れを把握する。
限られた時間の中で効率的に活動するためのタイムスケジュールを作成します。

☐ 授業テーマ

実際のイベントと連動し、運営します。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	舞台制作演習 17	シチュエーション 1
2	／	舞台制作演習 18	シチュエーション 1
3	／	舞台制作演習 19	シチュエーション 1
4	／	舞台制作演習 20	シチュエーション 1
5	／	舞台制作演習 21	シチュエーション 2
6	／	舞台制作演習 22	シチュエーション 2
7	／	舞台制作演習 23	シチュエーション 2
8	／	舞台制作演習 24	シチュエーション 2
9	／	舞台制作演習 25	シチュエーション 3
10	／	舞台制作演習 26	シチュエーション 3
11	／	舞台制作演習 27	シチュエーション 3
12	／	舞台制作演習 28	シチュエーション 3
13	／	舞台制作演習 29	シチュエーション 4
14	／	舞台制作演習 30	シチュエーション 4
15	／	舞台制作演習 31	シチュエーション 4
16	／	舞台制作演習 32	後期総括

☐ 到達目標

舞台監督の立ち位置や、事前準備の必要性を理解。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	運営手法実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	制作会社

☐ 授業概要

他授業とリンクしながら、予算書の作成を行う。

☐ 授業テーマ

予算書の作成とプレゼンテーションスキルの向上。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	運営手法実践 1	プロモーションプランニングとシミュレーション
2	／	運営手法実践 2	プロモーションプランニングとシミュレーション
3	／	運営手法実践 3	プロモーションプランニングとシミュレーション
4	／	運営手法実践 4	プロモーションプランニングとシミュレーション
5	／	運営手法実践 5	プロモーションプランニングとシミュレーション
6	／	運営手法実践 6	プロモーションプランニングとシミュレーション
7	／	運営手法実践 7	計画書と予算書の提出 内容評価
8	／	運営手法実践 8	プロモーションプランニングとシミュレーション
9	／	運営手法実践 9	プロモーションプランニングとシミュレーション
10	／	運営手法実践 10	プロモーションプランニングとシミュレーション
11	／	運営手法実践 11	プロモーションプランニングとシミュレーション
12	／	運営手法実践 12	プロモーションプランニングとシミュレーション
13	／	運営手法実践 13	プロモーションプランニングとシミュレーション
14	／	運営手法実践 14	計画書と予算書の提出とプレゼンテーション 内容評価
15	／	運営手法実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	運営手法実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

予算書の作成することができる。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	運営手法実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	制作会社

☐ 授業概要

他授業とリンクしながら、予算書の作成を行う。

☐ 授業テーマ

プレゼンテーションスキルの向上。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	運営手法実践 17	プロモーションプランに沿った宣伝
2	／	運営手法実践 18	プロモーションプランに沿った宣伝
3	／	運営手法実践 19	プロモーションプランに沿った宣伝
4	／	運営手法実践 20	プロモーションプランに沿った宣伝
5	／	運営手法実践 21	プロモーションプランに沿った宣伝
6	／	運営手法実践 22	プロモーションプランに沿った宣伝
7	／	運営手法実践 23	プロモーション実績 内容評価
8	／	運営手法実践 24	プロモーションプランに沿った宣伝
9	／	運営手法実践 25	プロモーションプランに沿った宣伝
10	／	運営手法実践 26	プロモーションプランに沿った宣伝
11	／	運営手法実践 27	プロモーションプランに沿った宣伝
12	／	運営手法実践 28	プロモーションプランに沿った宣伝
13	／	運営手法実践 29	プロモーションプランに沿った宣伝
14	／	運営手法実践 30	プロモーション実績 内容評価
15	／	運営手法実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	運営手法実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

☐ 到達目標

宣伝媒体の完成度を高める。

☐ 評価方法

総合評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイディアプランニング実践			4	有限会社マイスタークラフト
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	制作会社

□ 授業概要

脳の中のヒラメキや深まった考えを文章や図などに視覚化します。
アイディアが具現化できるものかどうかを検証します。

□ 授業テーマ

まずは、面白いと感じる実感を捉えます。その実感を共感に変えていくことを実践していきます。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	アイディアプランニング実践 1	授業の流れと目的を共有します
2	／	アイディアプランニング実践 2	身近な「面白い・楽しい」について話す
3	／	アイディアプランニング実践 3	その理由を見つける
4	／	アイディアプランニング実践 4	テーマに沿ってオリジナル企画を考える
5	／	アイディアプランニング実践 5	企画をプレゼンテーションする
6	／	アイディアプランニング実践 6	企画を再考する
7	／	アイディアプランニング実践 7	前半振り返り
8	／	アイディアプランニング実践 8	樹形図を使ったアイデア出し①
9	／	アイディアプランニング実践 9	樹形図を使ったアイデア出し②
10	／	アイディアプランニング実践 10	樹形図を使ったアイデア出し③
11	／	アイディアプランニング実践 11	アイデアを組み合わせる①
12	／	アイディアプランニング実践 12	アイデアを組み合わせる②
13	／	アイディアプランニング実践 13	条件付きの企画について考える①
14	／	アイディアプランニング実践 14	条件付きの企画について考える②
15	／	アイディアプランニング実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アイディアプランニング実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

アイディアを（視覚化）まとめることが出来る。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）		音響学科 2年	
授業コード	授業科目名		担当講師名
	アイディアプランニング実践		4
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数
	後期 10月～3月	演習	選択
			64
			制作会社

□ 授業概要

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

□ 授業テーマ

いいものを作ろうとすると、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいのか？を探ります。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	アイディアプランニング実践 17	ブレインストーミングを知る
2	アイディアプランニング実践 18	テーマ①についてプレストする
3	アイディアプランニング実践 19	テーマ①のアイデアを整理する
4	アイディアプランニング実践 20	テーマ②についてプレストする
5	アイディアプランニング実践 21	テーマ②のアイデアを整理する
6	アイディアプランニング実践 22	テーマ③についてプレストする
7	アイディアプランニング実践 23	前半振り返り
8	アイディアプランニング実践 24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9	アイディアプランニング実践 25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10	アイディアプランニング実践 26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11	アイディアプランニング実践 27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12	アイディアプランニング実践 28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13	アイディアプランニング実践 29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14	アイディアプランニング実践 30	1年間のまとめ
15	アイディアプランニング実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	アイディアプランニング実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す。

□ 評価方法

ブレインストーミングによる総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出実践			4	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	講義	選択	64	音響実務

□ 授業概要

就活に必要な書類の必要性を理解し、準備します。

定期的な面談を通して、受験希望の企業を絞り込み、受験に備えます。

□ 授業テーマ

業界EXPOに向けて、履歴書、プロフィールシートの完成を目指します。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	業界進出実践 1	履歴書、プロフィールシート作成の指導
2	／	業界進出実践 2	履歴書、プロフィールシート作成の指導
3	／	業界進出実践 3	履歴書、プロフィールシート作成の指導
4	／	業界進出実践 4	履歴書、プロフィールシート作成の指導
5	／	業界進出実践 5	履歴書、プロフィールシート作成の指導
6	／	業界進出実践 6	履歴書、プロフィールシート作成の指導
7	／	業界進出実践 7	履歴書、プロフィールシート作成の指導
8	／	業界進出実践 8	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
9	／	業界進出実践 9	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
10	／	業界進出実践 10	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
11	／	業界進出実践 11	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
12	／	業界進出実践 12	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
13	／	業界進出実践 13	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
14	／	業界進出実践 14	春活動期間の目標設定とスケジュール確認
15	／	業界進出実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	業界進出実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

プロフィールシートの完成。

□ 評価方法

履歴書、プロフィールシート提出

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出実践			4	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	講義	選択	64	音響実務

□ 授業概要

12月70%内定を目指し、個別にサポートします。

□ 授業テーマ

提出物を意識させ、より丁寧な提出物、感情移入する提出物を目指す。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	業界進出実践 17	春休み活動期間振り返り/企業の選定と履歴書作成のフォロー
2	／	業界進出実践 18	企業の選定と履歴書作成のフォロー
3	／	業界進出実践 19	企業の選定と履歴書作成のフォロー
4	／	業界進出実践 20	企業の選定と履歴書作成のフォロー
5	／	業界進出実践 21	企業の選定と履歴書作成のフォロー
6	／	業界進出実践 22	企業の選定と履歴書作成のフォロー
7	／	業界進出実践 23	企業の選定と履歴書作成のフォロー
8	／	業界進出実践 24	企業の選定と履歴書作成のフォロー
9	／	業界進出実践 25	企業の選定と履歴書作成のフォロー
10	／	業界進出実践 26	夏活動期間の就職活動計画を作成
11	／	業界進出実践 27	夏活動期間振り返り/企業の選定と履歴書作成のフォロー
12	／	業界進出実践 28	企業の選定と履歴書作成のフォロー
13	／	業界進出実践 29	企業の選定と履歴書作成のフォロー
14	／	業界進出実践 30	企業の選定と履歴書作成のフォロー
15	／	業界進出実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	業界進出実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

この授業期間中に内定70%を目指す。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）	音響学科 1年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	音響実務

☐ 授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

現場理解を深める。

☐ 評価方法

企業側からの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	224	音響実務

☐ 授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 17	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 18	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 19	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 20	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 21	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 22	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 23	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 24	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 25	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 26	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 27	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 28	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 29	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 30	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 31	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 32	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

現場理解を深める。

☐ 評価方法

企業側からの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（後期）	音響学科 2年
------------	---------

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	入江 夢月
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	音響実務

☐ 授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
(学内での準備も含む)

☐ 授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

☐ 授業項目

☐ 授業内容

1	／	企業研修 33	学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 34	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 35	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 36	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 37	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 38	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 39	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 40	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 41	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 42	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 43	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 44	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 45	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 46	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 47	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 48	学内では学べない経験を直接的に体験

☐ 到達目標

現場理解を深める。

☐ 評価方法

企業側からの評価

☐ 教科書 ・ 参考文献

☐ その他

2025年度（前期）		音響学科 2年		
授業コード	授業科目名		週間授業時数	担当講師名
	舞台照明技術		4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	64	舞台照明会社

□ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

□ 授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	舞台照明技術 1	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2	／	舞台照明技術 2	A館玄関 進撃の巨人前ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3	／	舞台照明技術 3	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4	／	舞台照明技術 4	2F 学生ホール JAZZライブ想定のオペレーション 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5	／	舞台照明技術 5	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6	／	舞台照明技術 6	A館2F バー実習室ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7	／	舞台照明技術 7	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8	／	舞台照明技術 8	B館8階 ホテル実習室でホラー映画演出 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9	／	舞台照明技術 9	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10	／	舞台照明技術 10	B館7階 バンケットルームで模擬披露宴 PAの参加も要請する予定
11	／	舞台照明技術 11	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12	／	舞台照明技術 12	A館8階廊下 ランウェイに見立ててファッションショー 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
13	／	舞台照明技術 13	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14	／	舞台照明技術 14	2F 学生ホール アコースティックライブ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15	／	舞台照明技術 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台照明技術 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□ 到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する。

□ 評価方法

総合評価

□ 教科書 ・ 参考文献

□ その他

2025年度（後期）

音響学科 2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明技術			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必修・必修選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	舞台照明会社

□ 授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

□ 授業テーマ

どれかの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

□ 授業項目

□ 授業内容

1	／	舞台照明技術 17	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2	／	舞台照明技術 18	A館玄関 進撃の巨人前ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3	／	舞台照明技術 19	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4	／	舞台照明技術 20	2F 学生ホール JAZZライブ想定のオペレーション 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5	／	舞台照明技術 21	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6	／	舞台照明技術 22	A館2F バー実習室ライトアップ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7	／	舞台照明技術 23	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8	／	舞台照明技術 24	B館8階 ホテル実習室でホラー映画演出 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9	／	舞台照明技術 25	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10	／	舞台照明技術 26	B館7階 バンケットルームで模擬披露宴 PAの参加も要請する予定
11	／	舞台照明技術 27	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12	／	舞台照明技術 28	A館8階廊下 ランウェイに見立ててファッションショー 時間内に仕込み～撤去まで終わらせ
13	／	舞台照明技術 29	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14	／	舞台照明技術 30	2F 学生ホール アコースティックライブ 時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15	／	舞台照明技術 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台照明技術 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施